HARI Question Bank

東洋医学シリーズ

クエスチョンバンク

東洋医学臨床論

蛍東洋医学研究所

目次

東洋医学臨床論Ⅰ（整形外科）・・・・　3

東洋医学臨床論Ⅱ（内科）・・・・・・・　12

東洋医学臨床論Ⅲ（感覚）・・・・・・・　25

東洋医学臨床論Ⅳ（外科）・・・・・・・　35

※ページ番号はpdfファイルのページになります。

本書の使い方

- 左半分　穴埋め問題になっています
- 右半分　回答文になっています
- 右半分を隠して、左半分を見ながら、
  右側の内容が答えられるよう暗記しましょう

東洋医学臨床論Ⅰ

（整形外科）

○ 東洋医学臨床論Ⅰ（器形）—①

[1] 頸肩腕痛　原因2つ
　全身不適応症　5つ
　◎頸椎症 病態　2つ
　　症状　3つ　○が○の○. ○がれ○ル-ゲルの〜○が○
　　所見　3つ　○.○.○
　　検査　2つ　○テスト. ○テスト
　経元. 神経根周囲の循環改善, 消炎　3
　　疼痛部位の鎮痛（神経走行）　2
　　他の経穴　5
　◎肩関節痛　5つ
　　不適応症　4つ
　　関連痛　2つ　内臓の病気
　○上腕二頭筋長頭腱炎　原因3つ
　　症状　2　肩の○の痛み〜 ねじれ. ○-○の痛み
　　検査　3つ
　　治療（経穴）　1
　○五十肩　原因, 急性期, 慢性期
　　症状 痛み 2つ ①内旋, ②外旋 ○動作
　　検査 2つ. 治療方法: 慢性期 ○○体操
　　◎リンパ 処方例 5つ
　　他の経穴 3つ
[2] ○肩こり 症状 ○.○○の ○ や○
　　張ったと ○や○, ○なしの ○ となる
　　原因3つ○○○. まとめると ○ となる
　　検査
　　◎リンパ. 処方例　5
　　他の経穴　5
○胸部出口症候群, 便宜部位 4つ ○○症候群
　症状 5つ
　　○の○で 左肩が ○ ?
　　◎のテスト 3つ
　　ⓑ.ⓒ いつつ, ⓐの血管の検査)
　　◎リンパ 筋緊張の除去　3
　　頸肩部筋スパズムの除去 2 / その他 1
　　(体格を測る) と 判断重

局所の疲労, 頸椎の退行変性によって生じる
発熱, 腫瘍(リンコーマ), 膀胱直腸障害, 筋萎縮, 麻痺
頸椎周囲の退行変性, 頸椎症性神経根症
頸や肩の張ってこりた痛み, 障害された神経根のレベルに一致した
デルマトームへの放散痛や手指のしびれ、筋力低下
圧痛, 上肢深部腱反射, 知覚障害
ジャクソンテスト, スパーリングテスト
風池, 大椎, 天鼎
肩貞, 曲池
天柱, 肩髃, 二, 肩井, 肩外俞, 天宗
腱板炎, 肩関節周囲炎(肩こり), 五十肩, 上腕二頭筋長頭腱炎 肩関節下滑液包炎
発熱(感染症), 骨折, 脱臼, 腱板断裂(ドロップアームテスト)
心腸(左肩), 胆のう(右肩)
結節間溝部の炎症, オーバーユース, 野球肩
肩前方の痛み, 肩関節外転・外旋時の痛み
スピードテスト, ストレッチテスト, ヤーガソンテスト
局所の鎮痛のために結節間溝部に刺鍼
鞍部周囲の退行変性, ①炎症と強い痛み, ②ずっと痛みのみ痛みなし、
結節動作, 結節動作
ペインフルアーク徴候, ドロップアームテスト, ゴッドマン体操
臂臑, 肩髎, 巨骨, 肩貞, 肩井 腱板断裂の診断
天宗, 秉風, 曲垣 (棘上, 棘下筋)
項部, 肩甲上部, 肩甲間部のこわばった不快感が痛み
頭痛, 発熱痛, 上肢痛, 関連痛
オーバーユース, 精神的緊張, 自律神経 — 内臓疾患がある
頸肩部疾患の徒手検査を行い陽性所見のないこと
天柱, 風池, 肩井, 肩髃, 身柱
巨骨, 曲垣, 秉風, 天宗, 肩貞
ᵃ斜角筋, ᵇ肋鎖, ᶜ過外転, ᵈ頸肋
上肢の疼痛, 冷感, シビレ, 脱力感, 倦怠感
上肢の挙上位で症状が増悪するのが特徴
ᵃモーレイテスト, アレンテスト, ハルステッドテスト
ᵇエデンテスト, ᶜライトテスト, ᵃアドソンテスト
天鼎, 扶突, 中府
天柱, 肩井 / 天窓
なで肩, やせ肩(牽引型) 鬱傾 / いかり肩, 筋肉質(圧迫型) 弦

第1年
[3] 痺証とは、○が悪くなり○○に○○○が起こる

2つの分類 A、B、Aは○から侵入、Bは○に○が少しで侵入

Aの分類3つ(現代でいう自律神経の不調 社会的)、B別名

A 3つ(別名)、関連臓腑

特徴　1. 2. 3.

症状　1. 2. 3

治療方針　1. 2. 3

経穴　1. 2. 3 (1. 2. 2)

Bの特徴

症状

治療方針、経穴

(四)肩こり 虚証、○による。随伴症状 3つ

知予防(いたば)

方針

実証 ○による随伴症状

知予防

方針

(四)五十肩 原因、特徴、2種類 急性、慢性、○○型(特徴)

①症状 ○(原因)、○(原因)、知予防

方針

②症状 ○、○、知予防

方針

[5](四)膝下股痛 適用となる女の膝痛3つ

下股痛 2つ

①病態 急性(急のような痛みを伴う)○、慢性○、症状 悪寒○、○(発熱)

所見 ○の痛み○(腫れ)、特徴

②病態、○の障害/急性、慢性、○で生じる

所見 症状○、膝部の体位と○で引き起こし障害

③病態 ○オ加わる○に起因する、症状○とは(ON OFF)

所見 変形が進行すると膝裏の○が○(○6○)

膝痛の鑑別 痛みの変化の体感、特徴、急・慢性、原因、年齢 ① ② ③

(痛みの特徴)

経絡気血の巡行、肌肉、筋骨、関節、疼痛、麻木、重だるさ

[1]風寒湿、[2]風湿熱、[3]風寒湿の邪、[4]風熱の邪と湿邪

[1]湿気多い住環境、[2]汗かいた後に冷え、[3]水にぬれた後の寒冷刺激、[4]熱痹

[1]行痹(風痹)肝、[2]痛痹(寒痹)腎、[3]着痹(湿痹)脾

[1]移動性の痛み、[2]痛み固定、[3]悪化温めと軽減

[3]痛み固定、重だるい、悪天候により悪化(雨など)

[1]悪寒発熱、[2]寒がり、四肢冷え、[3]浮腫・しびれ

風邪除去、血行改善、[2]腎気加補、[3]脾胃虚に対する改善

[1]風池、膈俞、血海、太衝、[2]腎俞、関元、[3]陰陵泉、足三里

四肢関節疼痛、発赤、腫れ、発熱、冷やすと軽減

[1]風邪痛、発熱、[2]汗、多汗、炎症、尿量少なく黄色

清熱、大椎、曲池、合谷

肝血虚、眼精疲労/目のかすみ、乾き、顔色黄

足陽、天柱、肩井、三陰交、血海

血虚改善、肩井、足太陰経穴

気滞血瘀、気分ふさぐ、怒りっぽい、胸脇満、疼痛、月経不順

足陽、肩井、膈俞、太衝、陽陵泉

気滞血行改善、足厥陰経、筋にかかる肩井

風寒湿、長期、①経絡型(痛みが移動)、②経筋型(痛みが移動しない)

動作時痛(急性)、夜間痛(慢性)、肩髃、肩髎、肩貞、肩髎、曲池、外関

経絡の通り改善、気血運行促進、高所

運動制限、筋拘縮、肩髃、肩貞、肩髎、条口、陽陵泉

気血の運行と促し、経筋の改善をねらう

①筋・筋膜性膝痛、②脛骨関節性膝痛、③変形性膝関症

④根性坐骨神経痛、⑤梨状筋症候群

急激な動作、筋疲労、患部腫脹、前屈動作で悪化

患部腫脹・圧痛、内出血、熱感なし

脛骨関節の障害/急激な動作、運行変化でまがる

圧痛、捻転と後屈

40才、運行変分、突然とした、起床時動作開始時、温熱で改善

後書が消失、前書が消失

前屈、圧痛、硬結のみ、急性なし、−

捻転、後屈、脛骨関節部と圧痛、急性なし、−

動作時痛、重い、だるい痛み、慢性、あり、40以上

Date 2 26

東洋医学臨床論I（整形）—②

○腰痛の鑑別 腰の動きの検査 4つ ○（指摘名）
深部腱反射 2つ ○（略語）：○神経根
反射の消失 病名2つ 元値 1つ
病的反射 ○ 指が○する 1つ
腹筋反射 ○ 腹筋が○する 1つ
腰椎可動域検査 ○動き 内側 外側 足の長 L0 S0!
筋力 動作（略語）：○神経根 2つ
神経根障害 テスト名（略語）：○神経根 2つ
椎間関節性腰痛 テスト名 2つ（外方○cm）
L3/L4 神経根 腰部障害 神経伸展 反射 筋力の変化
L4/L5
L5/S1
腰痛の鑑別 5つ＋①
予後
(7)下肢痛 2つ
①は○と○の神経根の圧迫症状 病名○.○.○
症状 所見 腰椎 検査2つ
鑑別例
治療方針
②は○が○と○の間隙で圧迫される部位で○により障害される
症状 所見○.○
鑑別例 ○ 治療方針
[5](7)腰下肢痛 原因疾患 急性1 慢性2つ ○の症状をとらえる
③症状 鑑別例 5つ 治療方針
④症状 前の症状 腓腹筋2つ ○→○への改善痛
鑑別例 ⑤5つ ⑥5つ
治療方針 ○と○.○
⑤症状 ○と関連 ○による 鑑別例
治療方針 ○による ○.○経
(7)膝痛：非外傷性の運動器の病名 疾患 ○による
症状5つ ○○痛と5つ 安静時と運動時
問診 観察 検査 6つ

①を3つ○（可能）②膝蓋大腿関節の○（○の動）による○.○
大腿回旋筋の○.○.○による○.○ ③○.○と同じ
④3方向（測定部位）

前屈（FFD）、後屈、側屈（左右で強制性）、回旋（左右）
膝蓋腱反射（PTR）：L4、アキレス腱反射（ATR）：S1
脊椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、坐骨神経障害
バビンスキー反射、外に反応する、赤ちゃんの①のとき
内側腹、L4、L5、S1
かかと立ち（EHL）、L4、L5、つま先立ち（FHL）S1、
ラセーグ徴候（SLR）、L5、S1、大腿神経伸展テスト（FNS）L3、L4
腰椎椎間関節圧迫テスト（1.5-2cm）、ケンプ徴候：仮説による特性疼痛
L4、踵立ち、大腿回旋筋、膝蓋腱、FNS、PTR、下肢内側、足背内側
L5、踵立ち EHL、SLR、—、下肢外側、足背
S1、つま先立ち FHL、足底屈、SLR、ATR、足底、足背外側
脚痛、骨痛、腎痛、志室、大腸痛、椎間関節痛（病ーとらえる）
圧痛・硬結部位への治療、筋緊張の緩和
①根性坐骨神経痛 ②梨状筋症候群
L4、L5、神経根、腰部椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症
脚欠性跛行、PTR消失、SLR陽性、
肥満、殷門、承筋、陽陵泉、足三里
神経根付近の循環回復、疼痛部位の鎮静
坐骨神経が梨状筋と坐骨結節、梨状筋
①と同じ、梨状筋部の圧痛、K.ボンネットテスト
殷部梨状筋部、梨状筋の緊張緩和
③経脈と経筋 ④外邪（寒湿） ⑤腸脈
気血阻滞／腎痛、命中、環跳、大腸痛、内踝穴、足太陽経
痛痒、着痺、⑥足太陽経、下肢後部、⑦足少陽経、下肢外側部
⑥腎痛、大腸痛、環跳、命中、⑦大腸痛、環跳、風市、陽陵泉、陽陵
陽気とその変遷陰気、気血巡行改善
腎、腎俞、大腸痛、環跳、命中、腎痛、太渓
腎を補う、足太陽経、足少陰腎経
変形性膝関節症（膝OA）、40歳以上の太った女性
歩行痛、正座痛、階段昇降時痛、動作開始時痛、立ち上がり痛
膝関節屈曲ROM、大腿回旋筋MMT、変形
膝蓋骨圧迫テスト、膝蓋跳動、大腿周径
①内反（OA型）、外反（X脚型）、屈曲／②軟骨、骨膜の変形、疼痛、ざらつき
緊張、萎縮、短縮、③膝蓋上包の関節水腫の有無
④直上5cm、10cm、 可動性の方向

処方例 4つ
治療方針
他の経絡
東洋医学的処方例 123

[6] 末梢神経麻痺 ○○で発症し支配筋○○とおける
注意と察するもの(ちがいなし) ○下○の所見あり ○のるーもの
(上肢) 3つ ○○神経麻痺 → ○手, ○○○困難

症状4つ 100の麻痺. 2,5 00 症状的
(III) ①の処方例 5つ
(III) ②の経穴検査 2つ. 処方例 3つ
(III) ③の経穴検査 2つ, 処方例. 4つ
(下肢) 2つ ○○神経麻痺 1. 2
①②の症状 ○, 別名 ○, 知覚障害 ○,
好発部位 ① ② ③ ○ (○○症候群)
(III) 処方例 ①2つ. ④浅腓骨神経 1つ, 深腓骨神経 2つ
(III) ②2つ. sarcoma
(腱断裂) 2つ ①. ②. ①の場所
腱の名前 2つ
(III) 検査方法, 処方例 3つ

深丘, 血海, 委中, 攣鼻
膝関節周囲の消炎. 鎮痛, 血流循環促進
伏兎. 陰陵泉, 内庭, 鶴頂, 膝関節内側裂隙部
足三里, 攣鼻, 梁丘, 陽陵泉, 膝陽関, 陰陵泉
膝関, 曲泉, 陰谷. 浮郄, 委陽, 委中
打撲 挫傷 圧迫, 池 後遺症麻痺
深部(腱)及び打撲 病的反射の陽性所見, 診断の確定しない
① 橈骨, 下垂手, 指屈, 母指伸展不能. ② 正中 橈手 母指小指対立困難
③ 尺骨, 猿手, 鉤爪状,
1 橈骨神経麻痺, 2 手根管症候群, 3 肘部管症候群 手根管症候群
曲池, 手三里, 合谷. 偏歴, 消渇
ファーレンテスト, チネルサイン(手根管). 郄門, 内関, 大陵
チネルサイン(肘部管 肘管), TD-Qン徴候, 小海, 支正, 神門, 通里
1 総腓骨神経. 2 脛骨神経
1 尖足, 鶏歩, 内反尖足, 2 鉤足, 踵歩行, 外反鉤足
1 腓骨頭直下, 2 足根管: 足根管症候群
陽陵泉. 懸鐘, ⑤光明, ⑤上巨虚, 条口
承筋. 承山, ⑤太渓
ドケルバン病. ばね指, 橈骨茎状突起部
短母指伸筋腱, 長母指外転筋腱
フィンケルスタインテスト. 陽渓, 偏歴, 橈骨茎状突起部

現 頸肩腕症候群(頸椎症) 消炎(3) 鎮痛(2)
肩関節痛, 上腕二頭筋長頭腱炎(1). 五十肩(5)
肩こり(5)
胸部 知覚症候群, 筋緊張緩和(3). 筋スパズム, 陰虚(2)
東 麻痺 行麻(4) 痛麻(2)
着麻(2) 熱麻(3)
肩こり 肝血虚(5). 気滞血瘀(5)
五十肩 経絡閉(5). 経筋閉
現 腰痛 5+1
下肢痛, 根性坐骨神経痛, (5) 梨状筋症候群(1)
東 急性(5). 慢性・筋形(5)
慢性. 外部, 下肢後部(5) 下肢外側(5)
現 膝痛(4), 東(12)

風池, 大椎, 天鼎. / 肩貞. 曲池.
結節間溝部 / 肩髎. 肩髃. 肩貞, 巨骨. 臂臑
風池. 天柱, 肩井, 身柱, 肩貞
天鼎. 屋翳, 中府 / 天柱. 肩井.
風池, 腎俞. 血海. 太衝 / 腎俞, 関元
陰陵泉, 足三里 / 大椎. 曲池. 合谷
三陽. 肩井, 天柱, 三陰交. 血海 / 三陽. 肩井, 腎俞, 太衝. 陽陵泉
肩髎. 肩髃, 肩貞, 曲池, 外関 / 肩髎 肩髃. 肩貞, 巨骨. 陽陵泉
脾俞. 胃俞, 腎俞, 志室, 大腸俞, 相関関節部
胞肓, 殷門, 承筋, 陽陵泉, 足三里 / 梨状筋部
腎俞, 大腸俞, 環跳 委中 承筋 / 腎俞. 大腸俞, 環跳, 委中, 太渓
腎俞, 大腸俞, 環跳. 委中, 崑崙 / 大腸俞. 環跳, 風市, 陽陵泉, 飛揚
深丘. 委中. 攣鼻. 血海 / 深丘. 委中, 攣鼻,
膝陽関, 陽陵泉, 足三里, 陰陵泉, 曲泉, 膝関, 陰谷, 浮郄, 委陽.

↑

Date 2 26 27

○東洋医学臨床論 I

一③ 下期テストこころ

⑧
[1] (1) スポーツ傷害 2つに分けると①と②, ②は○に○して発生
○応急処理 4つと○と言われ ○.○.○.○ よりなる
(肩) スポーツ肩 ①○, ②3つ a. b. c ○動作(例)
○ ②は○と○度以上○し.○する動作がつらい
(11) 野球肩, 投球動作 5つ
①~③○の障害, ④と⑤○の障害, ○の前の保護
○①~③の判別
(11) 種類 6つ ○位置異常. ○炎 ○ 1. 2
筋活 損傷 ○ 3
カフ力 断裂 ○ 4
筋活 未未 ○ 5
障害 ○ 6
①○と○の衝突, ○の炎症, ②は○(肩峰)の○(肩峰下)障害
③○(肩甲骨)から○に○が○される. ④○(肩甲骨)間の○に挟まれる
⑨
[2] (11) テニス肘 2種類 ○(○○炎)
① テニス肘の○割, ○(前腕伸筋)が発症する, ○から○が圧迫
② ○に多い, ○と同じ病態, ○○(ゴルフ)肘, ○が○が加わる
時○時の保護 ○初期
○徒手検査 4つ ○テスト ○○○○
治療 6つ 場所 ① a. b. c
○位置 ○○○○○
場所 ② d. e. f
○位置 ○○ ○○ ○○

(11) 膝痛, さまざまな症状, ○症×2
① 打撲年齢, 打撲部位 1○ 2○
検査① ○ 腫脹, 水腫の不安定
③ 好発年齢, 好発部位 ○.○ [治療]
[3] (11) 運動性膝関節痛 5つ a. b○○.
(○(例). d○(例). e○(例)
a症態○の○~80○, ○に多い, 症状
b1症態○の○~30○の○, ○に多い, 症状
b2症態○の○に多い○の○, ○に多い, 症状
c病態○によって生じる○○, ○に多い, 症状
d病態○と○の○に○で生じる, ○に多い, 症状
e病態, ○に○による, ○伸展の三徴候 ○に○を伸ばす(例) 鼓○, 浸出液○○
(例) 1. 例 2. 例 3

1 スポーツ外傷, 2 スポーツ障害, 局所に反復することで障害発生
RICE, 安静(rest). 冷却(ice), 圧迫(compression). 挙上(elevation)
① ぶつかり合う. ②の投げる(野球). b 打つ(テニス), c 泳ぐ(水泳)
○上肢を90°以上挙上し回旋する動作
1 ワインドアップ期, 2 コックアップ, 3 加速期, 4 リリース, 5 フォロースルー期
○肩前方の障害, ○肩後方の障害
手関節伸展, 肘屈曲, 肩外転, 外旋, 肩前方に過緊張
1 *インピンジメント症候群, 2 上腕二頭筋長頭腱炎 *衝突
○SLAP Lesion(上方関節唇損傷) コックアップ
○リトルリーグズ・ショルダー(上腕骨近位骨端線離開)
○Bennet Lesion: ベネット病変 = ベネット骨棘, フォロースルー
○絞扼神経障害
1 上腕骨頭, 肩峰, 肩峰下滑液包, 2 野球肩の前方障害
3 コックアップ~加速期, 長頭筋の牽引, 4 ○少年期の投手 ➡ つづく 27
1 ○バックハンドテニス肘(上腕骨外側上顆炎) 2 フォアハンドテニス肘(上腕骨内側上顆炎)
ク割り. ○初心者から上級者まで, 外側上顆の前腕の伸筋腱
○上級者に多い, ○ゴルフ肘, 手首の掌屈, 内側上顆 前腕屈筋
肘伸展 肘の痛みや肘伸展制限
○トムゼンテスト, ○中指伸展テスト, ○チェアテスト, ○ミルテスト(腕のねじられ)
上腕骨外側上顆, 肘頭, 前腕伸筋群
○曲池, ○肘髎, ○天井, ○手三里, ○陽池
肘窩, 上腕骨内側上顆, 前腕屈筋群
○尺沢, 曲沢, ○小海, ○少海, ○支正, ○大陵
1 脊椎分離症すべり症, 3 椎間板ヘルニア
○20歳代~30歳代, ① ○L5腰椎, ② ○L5腰椎と仙骨の間
○45°斜位像, ○テリアの首輪
○20歳代~40歳代, ○L4/L5, ○L5/S1 [安静, 局所消炎鎮痛 循環改善, 筋肉刺激]
a 膝蓋軟骨軟化症, b1 オスグッド病, b2 シンディング・ラーセン病
c ジャンパー膝(膝蓋靭帯炎), d ランナー膝(腸脛靭帯炎), e 膝前十字靭帯損傷(ACL損傷)
膝蓋大腿関節間の摩耗による発症, 若い女性(10~20), 膝蓋骨周囲の疼痛
過度の屈曲動作により膝蓋骨周囲の軟骨軟骨が硬化, 成長期のスポーツ選手, 膝の過度の負担により膝蓋骨下極が剥離, 成長期のスポーツ選手, 膝蓋骨下極の痛み
ジャンプ動作により生じる膝蓋靭帯損傷, 成長期のスポーツ選手, 膝蓋骨下極の痛み
大腿骨外側上顆と腸脛靭帯の摩擦の炎症, 長距離ランナー, 動作時痛
着火, 急激な発症, 側副靭帯損傷, 半月板損傷(炎症), 膝関節, 膝くずれ現象
不安の三徴候, アンハッピートライアド 関節膝蓋

従来検査 I 1〜3 ○.○.○ (0.0.0)

4-6 ○.○.○ (直進)

症状 4-6

II 7.8 ○

9.10.11 ○

症状 7〜11

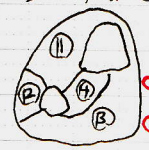
○膝蓋靭帯/大腿四頭筋/脛骨外側 /脛骨内側 経穴

[4] 運動性下肢痛 4つ 1○ 2○(ストレッチ)

3○ 4○, 2初石(月神)

①は○が○し○は足の筋等の○.○と言う

2スポーツ外傷は5○型, 障害は6○型, 原因 5.6



○名称 11.12.13.14

○11の筋と神経

○ 疼痛の運動, 圧痛部位

○ 治療穴

○12の筋, 神経

○ 疼痛の運動, 圧痛部位

○ 治療穴

13. 筋, 神経

疼痛の運動, 圧痛部位

治療穴

14 筋, 神経

疼痛の運動, 圧痛部位

治療穴 ○○○○○

② ○や○の繰り返しにより ○(機械)○に○(反復)と生じる○

筋 1(運動): ○.○.○

2(感): ○.○.○

疼痛の原因, 上記筋の○(筋肉)での○: ○(痛み)

症状 1, 2.

治療穴 治例, 1.○型, ○.○

経穴

2.○型.○.○, (ex.)

1膝関節屈曲ROM, 2大腿四頭筋MMT, 3変形(内反,外反,屈曲)

4膝蓋骨圧迫テスト, 5膝蓋跳動, 6大腿周径(0,10,20)

4膝蓋軟骨軟化症, 5関節水腫, 6関節水腫

7膝関節内反強制・外反強制テスト, 8前方後方引き出しテスト

9ノックレーテスト, 10ラックマンテスト, 11グラスピングテスト

7側副靭帯損傷, 半月板損傷, 8前後十字靭帯, 9半月板, 新性, 10腸脛靭帯

擦傷, 内・外膝蓋, 血腫, 梁丘, 足三里, 陽陵泉, 陰陵泉

1コンパートメント症候群, 2シンスプリント

3アキレス腱炎 4足関節捻挫, 脛骨疲労性骨膜炎

区画内圧が上昇, 循環不全, (2神)壊死・機能障害

5急性型, 6慢性型, 5大量の血腫腫脹, 6筋肉の硬さと浮腫で内圧上昇

11前方区画, 12外側区画, 13浅後方区画, 14深後方区画

前脛骨筋, 長趾伸筋, 長母趾伸筋, 深腓骨神経

母趾底屈, 下腿前面

足三里, 上巨虚, 条口, 下巨虚, 豊隆

12長腓骨筋, 尺骨腓骨筋, 浅腓骨神経

足関節内反, 下腿外側, 腓骨の上

陽陵泉, 陽交, 外丘, 光明, 陽輔, 懸鐘

13ヒラメ筋, 腓腹筋, 足底筋(腓), 腓腹神経

足関節背屈, ふくらはぎ

合陽, 承筋, 承山, 飛揚

14長趾屈筋, 長母趾屈筋, 後脛骨筋, 脛骨神経

母趾背屈, 下腿内側・アキレス腱と脛骨の間

三陰交, 漏谷, 地機, 復溜, 交信

ランニング, ジャンプ動作, 下腿・後面内側の痛み, 疼痛性症状を伴う

足底屈, 後脛骨筋, 長母趾屈筋, 長趾屈筋

足背屈, 前脛骨筋, 長母趾伸筋, 長趾伸筋

脛骨起始部, 発症, 骨膜炎

1脛骨中〜下1/3の後内側部痛, 2前脛骨筋に沿った痛み

骨折の消失領痛, ①後内側型, 足太陰脾経, 足少陰腎経

三陰交, 漏谷

前外側型: 足陽明胃経, 足少陽胆経 (ex 足三里, 上巨虚)

東洋医学臨床論 I

③アキレス腱炎、○により○の○が○がなし ○が○ とまじたが
同様の○に○とまじたなと○と○ケ
症状 初期は○ 慢性化すると○が○となり○が○で
腱の○、ボ見のときは腫れ内出血○、検査、
治療点 ○○○○○○

④足関節捻挫 内側の○が○が○する
○に底部に発生、出血で○が腫れる、色は○になる
治療点 方針：○、○、○

[12] まとめ1 頸椎症 ，部位筋：経穴 4,00筋腱支配 C5
8 C6
1 C7
3 C8

2. 肩関節周囲炎 棘上筋 経穴 3
棘下筋 2
3. 肩こり 肩甲挙筋 2
僧帽筋 7
4. 上腕二頭筋長頭腱炎 1
5 肘部より症状弾 斜角筋症状弾 3
肋鎖症状弾 2
過外転症状弾 1
6 テニス肘 4

(ね) 絞扼神経障害 橈骨神経麻痺 症状 感覚知覚 既
正中神経 ，症状 感知テスト
経穴
尺骨神経 ，症状
経穴
総腓骨神経麻痺 ○○○○○
腓骨神経 /症状
経穴

[13]
(ね)
L4 運動障害○○ 神経概テスト，反射，知覚
L5 ○○
S1 ○○○

オバーコース，アキレス腱，変性性消失，硬化，炎症，微小な断裂
相性結合組織，炎症，アキレス腱周囲炎
運動時痛，腫れ，しこり
圧痛，移動，トンプソンテスト（腹ばで 90°屈曲つかむと腓腹筋）
承筋，承山，飛揚，陽輔，崑崙，太渓
足首，靭帯，関節包，損傷，断裂
外果周囲（足関節外側），断裂音，腫脹
局所の消失領域，腫脹緊張，申脈，崑崙，丘墟
C5 上腕外側，臂臑，天府，侠白，手五里 ，上腕二頭筋
C6 前腕外側，尺沢，孔最，太淵，曲池，手三里，温溜，偏歴，合谷
腕橈骨筋腱支配
中衝，上腕三頭筋腱支配
前腕内側，腕骨，支正，小海
巨骨，秉風，曲垣
天宗，肩髃，肩髎
肩外俞，肩中俞
肩井，天髎，肩中俞，天柱風池，頭臨泣，肝俞
結節間溝部
天鼎，扶突，天窓
尺澤，気戸
中府
温溜，手三里，曲池，肩髃
下巨虚，上腕外，前腕外側，/合谷，偏歴，手三里，曲池，肩髃
猿手，母指，中指，薬指/手根管症状弾，チネルサイン，フォレンテスト
都門，内関，大陵
鷲手，薬指，小指/肘部管，ギヨン管，チネルサイン，フローマン徴候
支正，小海，通里，神門
尖足，鶏歩，背屈，陽陵泉，光明，悬鐘，上巨虚，条口
釣足，跛行，底屈/足根管症状弾，チネルサイン
承筋，承山，太渓

大腿四頭筋，膝中央，踵部，FNS PTR，下腿内側，足背内側
FHL 踵部，SLR — 下腿外側 足背部
FHL 底屈，つま先立ち，SLR ATR 足底部 足背外側

・腰部椎間板ヘルニア ○後縦
・椎間関節性腰痛 ,○ 〃
・ジョパー徴 ○筋.○動作 痛み. 経穴 2
・ランナー徴 ○動作. ○ラスト 1
・オスグッド徴 ○筋 ○部位, 圧痛, 2
・ランスプリント ○2点 2
・アキレス腱 ○テスト. 3
・足関節捻挫 3

(5) コンパートメント症候群
前方 知覚障害, 筋力低下 疼痛, 圧痛部位
神経
経穴 5
外側
経穴
後方
経穴
深後方
経穴

(6) (つづき) ベネット骨折 ○の時に○カロ叩き○が形成される
○ 橈骨神経 障害 神経 2つ 1. 2
部位, ○.○の骨折 1. 2
3は ○.○.○.○で挫滅
○ 後手根管 1 肩峰下滑液包炎, 腱板損傷, 2 腱板断裂
3 肩峰下滑液包炎/肩関節腱板損傷, 4 上腕二頭筋長頭腱炎
(孔ろ)
○ 経穴 1 三角筋, 2 上腕二頭筋 3 棘上筋
4 棘下筋. 5 僧帽筋. 6 広背筋

グローズ ブラガード
ケンプ
大腿回旋筋, 膝蓋動作. /膝蓋 動作痛 / 膝窩, 内側腓腹
腓腹動作. グラスビンラスト / 膝関節
大腿回旋筋, 腓骨骨膜, 脛骨粗面, / 膝窩, 内側腓腹
深後方 浅層, 坐骨結節後方 腓腹 / 三陰交, 涌谷
トンプソンテスト, アキレス腱 同側 / 崑崙, 太渓, 腓腹筋
丘虚, 蠡溝, 申脈, 前距腓靭帯, 踵腓靭帯, 後距靭帯

深腓骨神経 / 前脛骨, 長趾伸, 長母指伸 / 母指屈筋 / 下腿前面
足三里, 上巨虚, 条口, 下巨虚, 豊隆
浅腓骨 / 長腓骨, 短腓骨 / 足関節内反 / 下腿外側, 腓骨上
陽陵泉, 陽交, 外丘, 光明, 陽輔, 悬鐘
腓腹 / ヒラメ筋, 腓腹筋, 足底筋 / 足関節背屈 / ふくらはぎ
合陽, 承筋, 承山, 飛揚
脛骨 / 長趾屈筋, 長母指屈筋, 後脛骨筋 / 母趾屈筋 / 下腿内側アキレス
三陰交, 涌谷, 地機, 復溜, 交信
フットスルー, 牽引力, 骨折が形成される
○1 肩甲上神経 ○2 腋下神経
○1 肩甲切痕, 棘上筋, 棘下筋萎縮 ○2 外側腋下隙, 小円筋, 三角筋, 上腕骨
大円筋. 小円筋, 三頭筋長頭, 上腕骨
○1 ペインフルアーク徴候, ○2 ドロップアームテスト
○3 ダランボーン徴候, インピンジメント徴候, ○4 スピード, ストレッチ. ヤーガソンテスト
○1 肺俞, 膏肓, 肩髃 ○2 経筋関連, 天宗, 秉風, 肩井, 肩髃
○4 天宗. ○5 肩井, 肩外俞, ○6 肾俞, 志室

東洋医学臨床論Ⅱ

（内科）

東洋医学臨床論Ⅱ（内科）

①

[Ⅰ] 咳嗽 定義：異物排除の○で、気道の○で排除しようとする。ものと

過剰症：○, ○による○・○, ○による○咳嗽,

治療方針：気道の○と○を整治, ○と○邪やに反応・経絡点

例

(東) 咳は○の○, 嗽は○の○

原因は○の○と○の○

① ○○となる, ○は○, ○は○のある方

② は○(○と○)と○機能の

③ は○や○の○で起こる. 食べると○へ送, ○と○. 悪くなると○の○, ○の○.

経過 ①○: ○ 急性の○, 慢性の○. ②○: ○

④ ○による: ○の○機能の判別, ○: ○の○

⑤ ○による○の変化, ○による: ○の○, ○による○が生ずる

脈列 急性: ○性, ○を伴い, ○と○の色彩が変者

慢性: ○性, ○の機能失調の証候が変者

虚の性状 寒性, 熱性, 実性, 腎虚, 脾虚, 肺虚 ○<○

(例) 肺腎陰虚: ○証→○→○, 舌質 痩量(赤), ○, ○, ○の合併

主症状 ○, 舌, 結, 脈, 脈伴

治療方針 肺腎の陰を○し, ○を補, ○, ○に取れ○す

例

(例) 肝火: ○が○し, ○が○れる 主症状 ○, 度の○, 舌脈○○○

随伴 , 虚・実.

治療方針 ○と○の○による, ○と○に取る ○を, 補○

例

[Ⅱ] 喘息: 定義 ○を伴う○性の○, ○や○とおこる

治療方針 ○の調整, 気道の○の拡張

例

(東) (証) ○○とのべる ○は○ ○は○, ○の実証がある

実証 ○による○の制限, ○による

虚証 ○: ○を主る機能低下, ○: ○低下, ○: ○低下の

(例) 腎気虚: ○機能低下→肺・○機能低下→○虚→○症状

主症状: ○, 舌脈○○, 随伴

治療方針: ○・○を○い, ○と○に○と○で○る

例

生理的防御反射, 線毛運動

カゼ症候群, アレルギー鼻炎, 気管支喘息, 気管支炎, 慢性

閉塞性肺疾患, 気道炎症, 前頸部, 後頸部

天突, 大椎, 定喘 (風門, 肺俞, 大杼, 風池, 孔最)

肺気の上逆音, 疾液の喀出

津液の停滞と, 肺の生理機能の低下

痰飲, 痰: 粘膜が強く頑固, 飲: 粘り気薄く水様

宣散 (宣発と布散), 粛降

津液や水穀の精微, 膀胱, 清濁と下降, 上顆の浮腫, 尿量の減少

咳嗽 (有声有痰), 外感, 内傷, 咳逆 (有声無痰)

風寒: 肺の宣散, 風熱: 肺の粛降

痰湿: 脾の運化作用, 肝火: 肝の火が化火, 肺腎陰虚: 燥 (乾燥)

外感, 表証, 風寒風熱

内傷, 虚証

白く水様, 黄色く粘い, 量多い痰がある, 量少く乾いた咳 (津液不足)

肺陰→津液損傷→乾燥咳, 少血, 血痰, 喀血, 腎の症状

乾燥咳, 紅, 少, 細数 / 潮熱, 盗汗, 五心煩熱, 不眠, 腰膝がだるい

補, 清熱, 手太陰肺経, 足少陰腎経, 補

肺俞, 腎俞, 膏肓, 太淵, 照海

肝から化火, 肝火, 炎上, 咳嗽, 少し粘い, 紅・黄・多量

頭痛, 紅潮, 咽頭部の乾き, 口苦 (実証)

肝火・肝熱の清熱, 手太陰肺経, 足厥陰肝経, 泻法, 用いない

肺俞, 魚際, 尺沢, 行間, 陽池穴

喘鳴, 発作, 呼吸困難, 気道過敏性の亢進, 気道狭窄

自律神経系, 過敏性

天突, 中府, 或中, 俞府, 身柱, 肺俞, 膈俞

喘息, 喘: 喘鳴と伴う, 息: 喘鳴を伴わない, 気塞 (出入り)

風寒・体内異物, 痰熱

肺気虚: 気, 腎気虚: 水分機能, 脾気虚: 運化機能→痰湿中焦停滞

物質, 粛降, 陽, 冷え

長期症状, 顔色, 息切れ, 淡・沈細, 体腰だるい, 寒がり, 冷え

肺・腎気, 弱い, 手太陰肺経, 足少陰腎経, 灸, 補法

肺俞, 太淵, 腎俞, 太溪, 足三里

(11) 疲熱 ○証, 病名○の先個, 主症状○.○.○
手脚○.○, 随伴症状
治療方針 ○と○の陰陽. ○と○に分けて○法
例

(12) 胸痛 : ① 胸壁 : 皮膚・筋○○, 骨格○○
② 心肺血管 : 心臓○(○.○), ○, ○, 心膜, ○○
血管系 ○(○), ○, 神経系 ○, ○
③ 呼吸器
④ 腹部臓器
症状 狭心症 ○に左上腕, ○に消失, 心筋梗塞 ○に○で発生
放散 ○や○(○)に/○に広がる. 解離性大動脈瘤 ○なら背中
肺膜炎 ○い○性の○ある痛み. 肺炎気胸 ○~○代○性の
肺梗塞 肺○ ○性○で発生, 症状個なら○と○.○で発生
帯状疱疹 ○で潜伏. ○ ○○で出現, ○代と○代の2峰性
検査 血液○.○.○. ○刺激が出来, ○で○や○で発生
○ 感染症 ○, ○などの○も改善, 治療 ○とはわしい
例 前皮枝, 外側皮枝, 後枝

(13) 腹痛 ① 内臓自体の○刺激・虚血・炎症 ○痛, ② 腹膜の○刺激・炎症 ○痛
① 内臓痛の○はそして, 腹部の外と○とつ
特徴 鈍い痛みの○, 疝痛,
放散痛 [1]胃十二指腸の○, [2]胆石症○, [3]膵○
尿路結石の○.○小児腸炎, 先天心疾患

実証, 異常, 呼吸停止, 呼吸困難, 呼吸補助, 咳嗽
舌苔厚, 消散 / 胸痛, 煩熱, 口乾, 筋肉緊張, 発熱
清熱, 瘀, 手太陰肺経, 手陽明大腸, 足陽明胃経 : 浮
合谷, 膻中, 中府, 乳根
肋間神経痛, 帯状疱疹, 胸膜炎, 肺炎
虚血性心疾患(狭心症, 心筋梗塞), 心筋症・心筋炎 / 心膜炎 心嚢炎
解離性大動脈瘤(腹部大動脈瘤), 大動脈炎, / 心肺神経症 心臓神経症 自律神経失調症
肺炎, 肺癌, 気胸, 肋膜炎, 食道炎 : 虚
胃, 十二指腸, 肝, 胆道, 膵臓, 脾
胸背後部(裏面), 放散痛 / 夜間・早朝 時間帯
左肩 左上腕(狭心症と同) 上腕部, 20分 / 1日で現れる 強い痛
鋭い陰湿性痛 / 20~30代男性
出血性壊死, 激しい胸痛, 呼吸困難, ショック
肋間神経 発疹, 小水疱, 20代と50代
AST, ALT, CPK, 心筋梗塞, 重篤な不整脈, 心不全
特発性肋間神経痛, 帯状疱疹 胸痛, 食道痛
胸骨上 (胸骨柄), 腹直筋 (腹直筋上), 滑液包 刺激 5cm
胸痛, 陽気, 胸悶, 胸痛
疾濁 : 飲食不節, 飲酒, 脾胃, 陽気, 悶痛
瘀血 : 情志の抑うつ → 気滞 → 瘀血 → 胸部脈絡停滞, 刺痛
陽虚 : 陽気不足, 気血めぐり, 寒邪, 血行異常, 脈絡つまり, 鈍痛
陽虚 + 陰寒, 寒冷刺激, 血脈の冷え, 脈血管白, 鈍痛
胸痛, 苦白, 沈遅 / 胸悶, 息切れ, 心悸, 自汗, 呼吸困難
陽気, 気血, 寒邪 / 心・心包の特徴, 手厥陰心包, 手少陰心経, 陽気痛
心俞, 厥陰俞, 膻中, 内関, 郄門 / 胸→心・心包
気滞, 刺痛, 塊状, 実証
固定性の刺痛, 肩背部, 骨盤等時, 脇肋間
胸悶, 息切れ, 心悸, 冷汗, 唇色
血行改善, 瘀血除去, 心・心包, 手厥陰心包, 手少陰心経 浮
心俞, 膈俞, 膻中, 巨闕, 陰郄
自律神経, 内臓痛, 脊髄神経, 体性痛
内臓知覚過敏 放散痛
発作的に繰り返す痛み, 波状変化 ある.
[1]臍部, [2]右肩・背部, [3]左肩・背部・ず8相
下腹部・外陰部, 腹部, 腹痛

東洋医学臨床論 II

②

(必) 急性腹症，外科的処置を要する ○，○，○○，○，○
○腹症，腹部全体 ○ + ○○○

(必) 心窩部痛 ○，○，○，○，○の部別
右季肋部痛 ○，○，○，○，○
左季肋部痛 ○，○，○，○，○

(必) 回盲部 ○ ○5，○5，○や○で発生，○や○でも
左脇腹部，中腹部痛，下腹部痛 ← 痛む
適応症 心窩部，右季肋部，臍部
左脇腹部，下腹部 で ○や○の誘因に

(必) 記 治療方針 ○・○の○に応じた改善，例 ○○，○○○ ⑨

(東) 上腹部痛：○という
○：痛み：○による → 胃気の○さわり
○：：○による → 胃に○
○：：○による → 胃の○が悪くなる
○：：○や○により胃を損傷 → ○ → ○不足

(例) 脾胃虚寒 ○ → ○の低下 → ○の停滞 → ○痛
主症状 ○，○，○，食による痛みが○ 舌 脈
随伴
方針 脾胃を○め 機能向上，○と○に応じた方法の○
例

(例) 寒邪 ○が抑圧されるため，○を生じ，却って○の違えが○部痛
舌 脈，随伴 ○なると悪化，○なし
方針 胃を○め○を除去，○と○に応じて○法○
例

[消化性潰瘍は○性のもの，胃の○が，十二指腸の○が多い ○性]の性
○症

② 下腹部痛 ○：○ → ○の○による先問
○：○ → 腹部の○の
○：○や○による → ○
○：○不足，○不足 → ○の○

(例) 脾陽虚，腎虚，○の不足，○・○と関係，主症状，冷痛と○
舌 脈，随伴 ○問が○の下腹部痛，○，○
治療方針 ○で温め，○と回復 ○・おな ○に応じた方法○
例

消化管不調，虫垂炎，化膿，急性胆のう炎，急性腹膜炎，急性腹症，
急性腹症，虚血性大腸炎，出血性大腸炎，急性胃腸炎
潰瘍性大腸炎，胃十二指腸潰瘍，胆道：胆嚢疾患，中毒性子宮
胆石病，右上腹部痛，肝炎の代償，十二指腸潜伏期の変化の手術
膵炎，胃疾患，左腎，尿路結石，脾
虫垂炎，ヘルニア，ラジウム，筋性防御，自覚症状強い，尿閉結石，卵巣の腫瘍
過敏性大腸炎 / 小腸疾患，/ 大腸疾患・汎尿生殖器疾患 排泄
慢性胃炎，胃下垂症，胃癌，胃症 / 胆石症 / 慢性腸炎
過敏性腸症候群，/ 神経性腸炎 / ストレス，疲労
腹部 部位 疾患，中脘，天枢，腸・肝・脾俞
胃脘痛
寒邪(実)，生物・冷たいもの過食，抑圧 → 滞る
食滞(実)，暴飲暴食 → 気滞
肝うつ(実)，情志の失調 → 停滞
脾胃虚寒(虚)，労倦や不規則な食生活，脾陽不振，温煦不足
脾胃陽虚 → 温煦，内用，水飲，胃脘痛
胃の冷痛，喜按，喜温，軽減，舌淡白滑，脈，沈細遅
倦怠，疲労，怠惰(話すのもいや)，元気，四肢無力，泥状便
温める，脾胃の兪募穴，足陽明胃経，灸
胃俞，足三里，内関，公孫
陽気，熱飲，激しい胃痛，温めると軽減
苔白，脈弦緊 / 冷やし痛み，口渇なし
温め，寒邪を除去，胃の募穴，足陽明胃経，灸
中脘，足三里，内関，梁丘，合谷
男，40，30，慢性潰瘍，潰瘍症
寒邪：中焦の陽気の損傷 → 脾 運化機能
食滞：暴飲暴食 → 気機の悪化
肝うつ：怒り，ストレス → 気滞
脾陽虚：陽気不足 → 寒湿の停滞(運化失調)
中焦の陽気不足，按じたり温めると，下腹部の冷感，冷痛消失
舌淡白，苔白，沈細，左腹部，疲労感，寒がり，泥状便，水様便
脾気，脾陽，脾胃の兪募穴，任脈経，灸
脾俞，胃俞，章門，中脘，足三里

(11) 肝うつ ○による→肝の○の変化→○, 肩代 ○○で現れる○症状

主症状 ○, ○, 疲れやすい○, 舌脈

随伴 ○や○すると増強, ○が高まる, ○や○で悪化

治療方針 ○を良くする ○○と反元 ○に効く

例

[14] 悪心・嘔吐, ○中枢が刺激されておこる。嘔吐中枢は○にある

消化管の○神経 ○に作用, 化学受容体が関与する○ 5つ, ○や○でも

消化器以外の疾患 心, 腎, 肝, 代謝, 薬物 中毒 妊娠

適応症

治療方針 ○の○, ○ ○の交点 ○印 に灸

例

・乗物酔い ○・○と呼ばれる ○神経症状, 例

(見) ○, ○ ○ ○ ○などの原因で胃気が ○する

○(虚) ○から経脈の走行に沿って逆行すると

○( ) ○

○( ) ○に ○克○となって胃にも

○( ) ○による脾胃の損傷 ○に作用

○( ) ○で, ○により脾と損傷 ○が低下

○( ) ○ ○の ○による胃○の損傷, 胃の○が○になる

(11) 脾胃虚弱 水穀を○する機能低下 ○機能低下と○による症状

主症状 少しの食べすぎ ○・○, 症状は○する, 舌脈

随伴 ○色, ○, ○, ○ ○ ○便

治療方針 ○に○の○の調節, ○, ○と反元, 灸で○法

例

(11) 食滞 ○に停滞し, ○が○, 主症状 ○, ○の嘔吐, ○

舌脈 , 随伴

治療方針, ○の ○機能回復, ○と反元, 灸で○法

例

[15] 下痢・便秘, 便は排泄物が○, 小腸○, 下痢 小腸の問題○

適応症 ○ ○ ○ ○

・胃腸炎 便秘 大腸の○や排便○の○にある

・過敏性腸症候群 ○と関係 ○下○と合併, ○で悪化 大, 肝臓 ○にある

・方針 ○印, ○印の○や○, ○の交点 に灸

・例

例 ○○, 下痢 ○

情志の失調, 柔悪, 気滞, 腸部, 小腹部, 腹脹

小腹部痛, 腹脹, 腸部攻撃, 一定しない, 苔薄白, 弦

怒ると, 腹気, 腹気失気

気の巡りを良くする, 手厥陰心包, 足厥陰肝経, 任脈 浮

章門, 太衝, 内関, 気海, 陽陵泉

運動中枢 近位 内性 遠位 前庭 小脳 核

遠位 麻痺, 肝, 腎, 高血圧中毒, 脳梗塞, 代謝障害, 感染, 脳外傷

心不全, 尿毒症, パセドウ病, 糖尿病, モヤモヤ病, アルコール, 片頭痛, メニエール病

脳卒中, 胃神経症に随伴する悪心嘔吐, 精神的ストレスによるもの

消化器系 機能回復, 上腹部, 背部 筋緊張亢進

巨闕, 中脘, 脈 肝 脾

加味逍遥散 動揺病, 自律神経, 内関, 気宮 気会, 膻中, 足三里

外邪, 食滞, 疲飲, 肝うつ, 脾胃虚弱, 上逆

外邪(実) 表

食滞(実) 飲食過多

肝うつ(実) 情志失調 木克土,

疲飲(実) 飲食不節, 中焦,

脾胃虚弱(虚) 脾胃虚弱, 気虚, 運化機能

胃陰虚(虚) 熱病, 心肝, 火旺, 胃陰 潤い, 栄養

腐熟, 運化, 気虚

悪心・嘔吐, 反復, 舌淡, 苔薄白, 滑弱

黄色, 気虚, 無力感, 食欲不振, 腹脹, 張れ感

上逆, 胃気, 胃の寒証, 脾の陰寒証, 補 灸

中脘, 内関, 足三里, 脾俞, 章門

中焦, 濁気が上逆, 悪心, 酸腐臭物, 腹気

舌苔厚厚, 脈滑実, 腹部膨満感, 厚食, 口臭, 便秘, 泥状便

胃気の降, 足陽明胃経, 浮

下脘, 内関, 足三里 天枢, 内庭

不規則, 少なく, 多く, 腸加

胃腸炎 便秘, 過敏性腸症候群, 心因性痛, 内臓下垂

運動機能低下, 排便反射の低下

ストレス, 不安神経症, うつ病, 排便, 苦以 左下腹部

下腹部, 腰背部, 筋緊張, 硬結, 圧痛

左腹結, 天枢, 三焦俞, 大腸俞, 腸の逆灸

神門~灸, 便通点(外大腸俞), /圧痛 関元穴, 中脘, 小腹, 左右往

腎俞, 腎俞, 中脘, 小腹, 足三里, 天枢

東洋医学臨床論 II

③

(東) 便秘で○という○：○い食物で○損傷→○，○機能→○
○( )：○→腸の○変化，○や○による○
○.○( )：○や○に発生，○不足→○
○( )：○.○で○の陽気の虚，○機能低下→○→○.○
(III) 気虚　主症状○，大便○ まれ○，舌胖，脈弱
(III) 血虚　○.○.便が○くの状，舌胖，脈弱
両方の治療方針 ○を回復.○.○を取元.合方で○法.○
例
(III) 胃腸の熱　主症状○.○，舌胖，脈弱
方針 ○を取元.合方で○.
例
☆下痢 ○という○は便が○で出ない事より○は○より○に下る
○：○邪→○の抑止，→○機能失調 ⇨○↓
○：○なもの○もって出る.→○の○と○の○失調
○：○→○の○機能失調
○：○.○.○で○の○.○の変化→○できない
○：○まれる○で○気.○の虚，→○機能低下
(III) 腎陽虚　主症状○，舌胖，脈弱 ○.○.○，脈弱
方針 ○の○に相当する.○.○の○，○を取元.合方で○法○
例
(III) 湿熱　主症状○，○.○.○ 舌胖
随伴 ○の○怠，○.○，小便○，○
方針 ○の陽気，○を取元 合方で○法
例
(16) 月経異常，月経の○周期変化と○の○はり先生
早発月経 ○年前，遅発月経 ○以降.○以過ぎ○.
稀発月経 ○以内，稀発月経 ○以上○以内，それより少しと○という
過短月経 ○以内，過長月経 ○以上
過多月経 ○以上，過少月経
早発閉経 ○以前.遅発閉経 ○以降
過荒症 ○.○や○を対象
(1) ○ ○が始まる ○と伴い ○，症状○.○.○
○：月経に伴う○，○を思かない○状態 過荒，○脱
方針 ○.○機能亢進.○.○.○の○.○の変化，○
例

大便秘結，胃腸の熱(実)辛い，潤液，燥熱，陽盛，　熱秘
肝ちつ(実)情志の失調→位置機能，長期間圧迫，不利→　気秘
気虚・血虚(虚)病後・産後，気血不足　虚秘
腎陽虚(虚)虚寒体質・老人，下焦，温照，陰寒の凝結　冷秘・寒秘
排便困難，硬まれ歌，舌質淡・薄，肌虚，汗とぜりれ，顔色白，脱肛
排便困難，長期，硬(実証)，舌質淡，肌小固，心悸，めまい，面色淡白
気虚，足陽明胃，太陰脾経，督脈元，　鍼　灸
脾俞，大腸俞，三陰交，天枢，上巨虚
大便秘結，排便困難，紅，苔黄乾燥，滑実，拒押，腹部膨満，頭痛，口苦
胃熱の亢熱，手足陽明(大腸，胃)経，浮
合谷，曲池，内庭，天枢，上巨虚
泄瀉，泄：大便，希薄，瀉；水が注ぐ，一直線
外邪：湿邪，脾気，虚化⇨湿熱
傷食：不衛生・冷たい，胃位置機能，脾気の昇降機能
肝ちつ：精神的緊張，脾の虚化
脾胃虚弱：傷食・労倦・久病，水穀受納精微の虚化，消化分別
腎陽虚：久病・老化，腎・腸陽，虚化
五更泄瀉，手足冷，苔白，肌沈細，腹部に回復冷え，腸蠕動
腎温照，脾腎の背俞元，足陽明胃経，鍼，灸
中脘，天枢，脾俞，腎俞，命門
直腸下痢，腹痛と下痢の交互，テネスム，悪臭，稀黄，頻数：
肛門焼灼感，熱感，灼熱，少，頻繁と伴う
湿熱，手足陽明(大腸，胃)経，浮
天枢，合谷，陵陵泉，上巨虚，下巨虚
内分泌，子宮内膜，周期的変化
初経が10才，15才，18才 発育性無月経
周期が24日，39日以上 3ヶ月以内，稀発生無月経
出血期間2日，8日.
血量 150ml以上，異常に多い
40才 55才
月経 随伴症状，稀発月経，稀発性無月経
月経前緊張症：周期的前，月経消失，乳房緊張，悪心・吐き
月経周期症：下腹部痛・腰痛，冷汗，疲労感，発熱性，数時間～2日
肝腎神経，内分泌系，下腹部腰部，仙骨部，五痛，頭痛，肝腎不和
関元，，腎俞，次髎，三陰交，内関，公孫，行間

月経異常 東洋医学 大い

○益子：○位という，筋炎○の炎 ○下肢の冷え，○位が

(東) 同じの異常：同期○ 短い○：○，長い○：○ 不定期○

☆月経先期 ①(実) ○体質，幸福感○発達

②( ) ○により○となり○・○する

③( ) ○により○となり○発生

④( ) ○で○で○脾虚，○機能低下

(Ⅲ) 脾気虚 ○機能低下→○先周，○○○，○(○○○)加める

主症状 ○，量：○，色：○ 質○，舌脈

(主) 随伴 ○，○，○，○

方針 ○を補い ○ ○ 脾元 ○で○法，○，目的

例

(Ⅲ) うつ熱 ○で生じた熱が○経脈位の○ ○ ○に脾胃

主症状：○，量：○ 色 ○，臭：○，○→○→○→○

舌脈，随伴

方針 ○，○，○に脾元，脾で○法 意義

例

☆月経後期，血が少ない○になっている，分類4つ(虚)

① ○(虚実)，○の不足，脾に○が○ と肥血の減少

② ○( ) 情志のよりで肝気の○が変化，長期で○ と形成

③ ○( ) ○を損傷○虚で気血の○が○すると ○脈が血で充足化

④ ○( ) 摂食，生活，脾胃虚弱で○の生成の不足，○脈が動，経脈

(Ⅲ) 血虚 症状○，○，○

主症状 ○，量○，色○，質○，舌脈

方針 ○を補い，○と同様 ○脈，○腎元

目的，例

☆月経前後不定期 分類2つ(虚実)

① 肝の血の○が○に同時失調すると○が変化する。過多○，少ない○，○の期間で変化

② 先期 ○ それが主原で○となり，○が変化しない。これが○の小腸機能失調

① ○症状(○，○)，主症状○，量，色，質 舌脈

方針 ○機能回復，○元，○腎 ○で○法，意義

例

② ○が変化，○の調節失調，○不足，経質，量，色，○症状(○○)

舌苔脈，方針 ○を補い，○と同様，○脾，○炎，○腎の経

○で○法：○，目的 ○，○

例

骨盤位，至陰，8ヶ月，頭位(正常)

月経不順，月経先期(経早)，月経後期(経遅)，脈前及不定期(経乱)

実熱(実) 陽盛，内熱

うつ熱(実) 情志の抑うつより肝うつ，熱化，化火

虚熱(虚) 慢性疾患 陰虚 虚熱

気虚(虚) 飲食不節，労倦，脾，血流機能

脾の統血，衝任，経血過多，型の同乱 気虚(めまい，疲気，倦怠感)

経早，多，淡，稀薄，舌色淡，苔薄，脈弱無力

倦怠感，息切れ，心悸，小腹部下垂感

衝任脈，任脈元，足太陰脾経 補 灸，健脾益気

関元，気海，血海，足三里 脾俞

肝うつ，肝胆経，乳房，胸脇，小腹

経早，多少不定，紫紅，粘血塊，疎泄，月経前→乳房→気滞→心煩

紅，舌黄，弦数，乳房，胸脇部，小腹部の脹痛，心煩 易怒

任脈，足厥陰肝経，太陰脾経，冲，疎肝清熱

関元，行間，血海，地機

集まらない。1寒邪 2肝うつ 3虚寒 4血虚

寒邪(実) 風寒，寒邪 衝任脈

肝うつ(実) 疎泄，気滞血瘀

虚寒(虚) 腎陽，陽，生成，不足，衝任脈

血虚(虚) 血，衝任脈

めまい，不眠，心悸

経遅，少，淡，稀薄，淡，苔少，虚細

血の不足，衝任脈，任脈，足三陰経元(脾腎肝)

養血調経，益生血源，気海，気元，三陰交，脾俞，肝俞

1肝うつ(実)，2腎虚(虚)

輸送量，運行，経乱，経早，経遅，疎泄

腎気不足，腎虚，衝任脈，陰血

気滞(乳房・下腹部脹痛)経乱，多少，紫紅，粘，苔白，弦

疎泄，任脈，足厥陰肝経，筋，子宮，疎肝解うつ

肝俞，期門，太衝，中極，三陰交，関元，腎俞，太溪，水泉

衝任脈，陰血，精血，稀薄，少，淡，腎虚(耳鳴，めまい，腰のだるさ)

淡，薄，沈弱，腎，精血，月経，任脈，足少陰腎，足太陰脾

筋 補，灸，補腎養血，調補腎気封閉

関元，三陰交，腎俞，太溪，水泉

Date 15 16 23

東洋医学臨床論 II

④

(26) 高血圧 [○/○] mmHg 正常 ○/○ mmHg

⑦ 症候性 ○性高血圧 3つ, 本態性, 高血圧性 ○疾患

適応: ○性高血圧, 原因○, 血圧以外の所見 ○, ○

例

[処] 目的 ○と○る. ○ととる.

取穴 ① ○: ○の近く, ② ○利用,

③ ○.○○○, ④ ○, ⑤ ○

⑥ ○点, ○点: 才○-○ 効果発現間

[弟] ○と○ という記載 病証が ○○○で ○○○○と ○○○○と内容

虚証 ○ 実証 ○², ○³, 両方 ○⁴

④ ○証で○とも言う, ○不足-○不足-○利用不能-○充足-高血圧

② ○が○で○となり ○が○と ○が発生

③ ○に対する刺激や過多の○で○が生じ○する

(1) 陰虚陽亢, ○により○→○が上昇する状態 ○.○○○

舌苔 無

随伴症状

所見 ○は ○に○ ○は ○に○

目的 例

(2) 疾濁, 中焦に停滞した脾胃の異常・失調 ○○○○

主症状 ○.○.○ 苔 無, 随伴(主症以外)

所見 ○と○に○

意義 ○(○) 例

[27] 低血圧 (○) mmHg以下で ○ 状態, 所見 ○と○

適応となるか ○性低血圧, 例

[弟] ○.○.○に含まれる, 虚証 ○.○

(1) 気虚 ○の不足, 2次的 ○作用が失調, 気・不足 ○作用失調→原因

主症状 ○.○, 舌苔, 無, 随伴.

所見 ○の機能低下, ○亢, ○無の○法と○

目的. 例

(2) 気陰両虚. 気虚で○が○, 陰虚で○が○, ○は複雑

主症状 舌苔, 無

随伴

所見 ○と○ ○亢, ○虚, ○法

意義. 例

140/190 mmHg, 130/85 未満

腎, 内分泌, 心腎・血管性 / 心, 脳, 腎

本態性. 不明, 胸部聴打診異常, 尿蛋白陽性

天性, 人種(黒人), 心肥, 腎肥, 郡部

血圧を下げる, 感染予防

① 頭頸部刺激: 胸鎖乳突筋の近く. ② 井穴刺絡

③ 合谷, 曲池, 足三里, 太衝, ④ 脳内特殊循環. ⑤ 命門刺激(腰~背)

⑥ 降圧点, 血圧点, 6.7 左右2つ

眩暈, 頭痛, 本虚標実, 本虚は腎, 標実は肝

なし, [2]肝火, [3]疾濁, [4]陰虚陽亢

虚実挟雑, 肝陽上亢, 腎陰, 肝陰, 肝陽, 肝陽

精神的緊張, 情志の失調, 肝うつ, 化火, 肝火

油, 飲酒, 疾濁, 化火

熱生風, 風, 高血圧, めまい, 頭痛, 目眩

紅(虚熱), 少(栄養不足), 弦細数(脈, 虚証不足, 虚熱)

腰のだるさ, 健忘(腎), 不眠(肝), 五心煩熱(虚熱)

足少陰腎経, 補法 足少陽胆経: 浮法(肝陽しずめる)

滋陰潜陽(滋補肝腎), 風池, 曲池, 内関, 三陰交, 太渓

胸悶, 食欲不振, 悪心, めまい, 頭重感

高血圧, めまい, 頭重感 厚膩, 滑あるいは濡, 不眠, 心悸

足陽明胃経, 足厥陰肝経に浮法

祛疾除痰(清肝降火), 風池, 豊隆, 足三里, 太衝

100, 日常生活に支障をきたす, 然汗の発汗. QOL向上

本態性. 動悸, 完骨, 中脘, 身柱, 腎俞

眩暈, 虚労, 暈厥(失神), 気虚, 気陰両虚

先天の精気, 気化, 推動

低血圧, めまい, 冷, 薄, 沈遅, 息切れ, 落ち着き感, 自汗

脾胃, 脾胃の肝俞亢, 任脈, 補法

提昇陽気, 益気昇圧, 百会, 脾俞, 腎俞, 関元, 足三里

鼓動, 無力, 脈動, 充足しない, 気陰

低血圧, めまい, 紅(陰虚), 少, 細(栄養不足)

指先痺れ, 心悸, 不眠(心), 焦燥感, 五心煩熱, 口乾(陰虚)

気陰, 腎俞亢, 足少陰腎経

益気養陰昇圧(養血) 脾俞, 腎俞, 足三里, 太渓, 三陰交

[28] 食欲不振，食後の○の食欲・消化中枢で刺激，胃の○にとどまることで中枢に刺激を与えるので○○○，オルモン(○○)など

悪心症 ○○，○

(生)所見 ○ ・例

[重] ○の病変，発紅○○ 虚証○○

虚実挟雑：○：○→○→○

(生)胃陰虚 主症状 ○，舌苔，脈

随伴 ○，○○の○○

所見 ○証 ○証に○証

例

(例)脾胃湿熱 主症状 ○○○○，舌苔，脈

随伴 ，所見

証 ○証 ○証，○証○証

例

[29] 肥満 ○にしめる○の割合大，①○で判定，○に脂肪がなければ○とみなすこともあるが，治療のまず第②○は合併する○の存在が重要で生命，①○の方法で○がある②，原因は摂動が少ない○消費が少ない－

影響 ○への負担，○の蓄積，○の原因，過剰な○が出

例

乾性肥満の例

[重] ○症で，黄疸内臣なら○と記載する。/合併症○，○に○

(例)気虚 主症状 ○，○が○んでいる，舌，苔，脈

随伴

所見 ○証，○・○証に○証 ○証

例

(生)痰湿 主症状 ○，○は○ある，舌苔脈

随伴

所見 ○ ○証 ○証

例

[30] 発熱，○でセットである，一定の範囲で○とする。但発生とは発熱手の○より熱は上がり，○とで何かある，熱の生所と関係の○の所がある。体温を高くする物質は体内の○である。

原因 1. 感染：○が入り所 ○は重症になる，○が起こる原因○

2. 悪性腫瘍：○という，3 膠原病，全身性炎症－○

4 炎症性腸疾患 ○者が行なうと○，○，5 組織障害○○

視床下部，交感神経

本居方，インスリン，過剰摂取脂肪，甲状腺，副腎皮質

急性・慢性胃炎，胃潰瘍，胃癌

胃の治療は，漢方薬，中脘，巨闕，腸癌，脾癌，白会

脾胃，胃不和，脾胃湿熱，食滞／胃陰虚，脾胃虚弱

脾胃湿熱：飲食不節→湿熱→変化，熱内，昇降失調

空腹感はあるが食欲はない，紅，少，細数

口渇あるが飲みたがらない，唇・舌の乾燥，便秘

胃陰，足陽明胃経，足少陰腎経 補

足三里，解溪，太渓，陰陵泉，三陰交

厭食，悪心，嘔吐，紅，黄腻，清数，滑数

上腹部つかえ，軟便，疲労感，湿熱除去，脾胃回復

胃の募穴，手足陽明（大腸・胃）経，三陰交 補

中脘，足三里，曲池，陰陵泉，三陰交

身長，体重，①BMI，肉腸，合併症

②肥満症，健康障害，BMI 25

肉腸脂肪，（>）

心臓，脳血，糖尿病，荷重

三陰交，足三里，内関，太白，陽陵泉，豊隆

天枢，脾癌，腎癌，曲池，足三里

虚実挟雑症，肥満人，気虚，③痰湿，胃腸の熱

肥満，肌肉が詰んでいる。淡，白，細弱

無力感，息切れ，小動言（かすれ）汗，寒が，食欲不振，脾気虚，

胃腸内上，痰湿除去，任脈，足太陰脾，陽明胃，腎経虚つ浮

列欠，豊隆，三陰交，水分，天枢，関元

肥満，肌肉は詰まっている，胖，厚腻，弦数，滑数

疲れ，食欲，腹部つかえ，口渇，口臭，身体重い，便秘

手足陽明，足太陰脾経 浮沈

曲池，支溝，三陰交，内庭，四満，腹結

体温中枢，生理的動揺

両手赤，肝腎，筋肉，視床下部，体温調節中枢

細菌性毒素

ウイルス感染，細菌感染症，免疫不全，自己免疫疾患

④腫瘍熱，⑤血管炎

若年者，潰瘍性大腸炎，クローン病，肺塞栓，心筋梗塞

Date 16 23 24

東洋医学臨床論 II ⑤

6 アルコール性肝炎 ○・○ と見られる 7 薬剤熱 ○剤など ○ 既往

8 代謝異常 ○ で発症, 9 体温調節中枢の障害 ○.○

診断 一般症状: ○ 倦怠 ○ 脱力, 原因不明発熱 ↓ 脳血管障害 発症, ○ いる, 原因がわからない熱を ○

過敏症, 所見 ○, ○ 関連の ○

例

[東] ○ の主症 人体の ○ と ○ ド 守り, 徴候 2つ ○○

① 虚証 ○. 実証 ○

(iii) 陰虚 → ○ → ○ になる ○・○ → ○ 不足 → ○

主症状 ○・○ の ○, ○. ○. ○

舌 ○○○, 苔 ○・○ 脈

随伴

予後 ○ を補い ○, ○ 経. と ○ 法 ○ と ○ 法

例

(iv) 瘀血 ○ 黒こく ○ 黒 ○ の発熱 → ○ 痛. 黒 ○ → ○ 黒っ

主症状 ○・○ 痛 舌. 脈

随伴

予後 ○ の除法 ○ 以外, ○ 経, ○ 化 ○ 経

例

(31) のぼせ方: (iii) 頭部 ○~○ 赤, 症状 ○, 原因 ○ の ○

症状 血管運動系 ○○.○○

知覚系 ○ の ○, ① の ○

運動器系 ○○○, 精神系 ○○○○

(土元) 所見 ① ○・○ 調節 ② ○ と 刺激 ③ ○ 強い

例

(iii) 慢性動脈閉塞症, 血流悪化 手足 ○ 冷える, 疲れ ○.○.○ 既

を 重要 ○ (美), 原因不明 の ○ による ○ (○ の 石)

(土元) 下肢の症状 に対して ○ の 以外 と 日内 に分ける

検査 上肢 と 下肢 の 血圧 を 測

[東] のぼせ とほてり 同時 を ○ という ○ になるため, ○ と ○ の ように

手掌 脈, 随伴

予後 ○ の 交通 ながら ○・○ の ○ 元. ○ 脈, ○ 経 ○ で ○

例 上肢 2, 下肢 2, 背 3. 頭 1, 腹 1

6 黄疸, 肝障害, 7 利尿剤 元気

8 甲状腺機能亢進症, 9 脳出血, 脳梗塞

白血球 増, CRP, 尿所見 老人 ~ 多

項部 硬直, 不明熱

体温調節中枢の異常 1 鈍 測定, 2 高 外部 周囲 の 体温 収斂

1 肩甲, 腎俞, 中脘, 2 人迎, 合谷

外感熱症, 正気, 病邪, 外感性, 内傷性 発熱

陰虚, 瘀血

内熱, 炎上, 心煩・不眠, → 津液 不足 → 舌 評

午後・夜間 の 潮熱, 骨蒸 潮熱, 手足 ほてり, 舌 評

紅, 乾燥, 裂紋, 無・小, 細数

心煩, 不眠, 多夢, 乾燥, 便秘, 尿黄 少, 赤

陰, 清熱, 手足 少陰 心・腎 経, 序, 小陰 補

神門, 心俞, 太渓, 腎俞, 三陰交

(特徴) 午後 または 夜間 の 発熱 → 固定痛, 腫瘍, 肌膚 甲錯

午後・夜間 の 発熱, 固定痛 (刺痛 好), 青紫 斑, 細濇

口・咽頭 乾燥 ↓ 沈 または, 舌 色 暗紫, とめど (肌膚 甲錯) 淡 脈

瘀血, 血行, 手足 厥陰 心包, 腎 経, 序

心俞, 脾俞, 太淵, 内関, 大衝

45-55, 不定愁訴, エストロゲン の 低下

ほてり のぼせ 発汗, 手足 の 冷え

手足 の しびれ, 感覚 が 鈍い

易疲労, 肩こり, 腰痛, 倦怠 性, 焦燥感, 動悸, 不眠, 頭痛

① 内/合 収斂, 自律 神経 系, ② 血流, ③ 血流

① 肩 性, 次髎, 三陰交, ② 足 理, 太衝, ③ 中脘

循環 障害, 高血圧, 糖尿 病, 高脂血症

閉塞性 動脈 硬化症 (ASO), 血管 炎, 閉塞性 血栓 血管 炎

バージャー 病, 末梢 血行

API.

上熱 下寒, 心腎 不交, 陰陽, 水火 (腎と心)

紅, 舌 尖 紅, 少, 細 弱, 脈 細 数, 赤い 目 充血, 口渇, 意識

心腎, 心腎 の 原元, 督脈, 尺小 陰 腎 経, 脈 で 弱 刺 激

内関, 神門, 三陰交, 太渓, 大杼 腎俞, 長強, 百会, 関元

○冷え症 ○.○.○は相互に関係する，主症状
舌，苔，脈
随伴，
方針 ○の補位，○の陰元，○の気海，○と○の部取穴，○の補用
腹部は腹位4，腹3，下腹2

(33) 疲労と倦怠，原因悪寒 ○と○，脾虚○，腎虚○，○.○

(主) 虚証症 ○.○，方針

(証) 例

(東) ○.○.○.○.○の中に出てくる

(実) ①とは ○○○○○ ～まで，○○○○○○○
大きい3つ ○.○.○

(III) 脾気虚 主症状，舌，苔，脈
随伴
方針
例

(III) 疾温 主症状，舌，脈
随伴
方針
例

[35] 小児 十男子身体的精神的に○にある．母親反抗期 表現的に○．
症候 2つ，①は急激な方法で心身○と共に発症
① の症候
② 前兆 ○が完成する．通常○大以上になると反抗期症
例 ①と ②で 呼吸器，扁桃炎 ○.○

(東) ○.○とのみ，定位○の○実習．虚証 2つ
① は○機能が弱く，膀胱の○機能が弱いと反応がでる
② は 水の上昇の○機能が弱い 腎の○と制御できず 膀胱の○機能低下
① 主症状 ○，舌，苔，脈，随伴
方針 ○と補い ○で調上 ○脈穴，○.○の○に○灸
② 肝は ○と○に○は 腎は○と○し，○と制御，○ともり
下と制御できず 反応症となる
主症状 ○，舌，，脈，随伴
方針 ○で補い ○で調節する，○脈穴，○.○経穴○灸
例

(II) 大改の移行は 2つ，2 初代

陽虚，寒盛，瘀血 / 腹，上下腹，腹証の治え
腎紅，瘀点，白滑，沈弱 それの際
長期，月経不順，月経痛，
陽気，寒盛，瘀血，腎機能，腹診，筋走
五腎，脳髄，腎髄，上・次・中・下腎，腹中気海，関元 三陰交 陰陵泉
貧血と白血病，甲状腺機能，低血糖，電解質異常

生理的疲労・倦怠．/ 血流改善
肩井，腎俞，中脘，手三里，足三里
気虚，脾虚，腎虚，湿，五労七傷
見・寝・座・立・歩，怒・喜・思・憂・悲・驚・恐
脾気虚，腎気虚，神経損傷
倦怠，四肢無力，食欲のない，淡・黄脈，白，弱
顔色悪，食欲不振，腹脈，泥状便，良ねむ，白苔
脾腎機能向上，気血主穴，任脈穴，足太陰脾経，方針灸 補
関元，気海，中脘，三陰交，足三里
倦怠，無力感，動くと息切れ，淡胖，沈細が沈滑
肥満，寒がり，顔色白，下腹満膨
脾腎機能向上，疲労除去，任脈穴，足陽明胃経，方針灸 補 瀉
関元，中脘，陰陵泉，足三里，豊隆

成長過程，乏しい
1 小児神経症，2 小児夜尿症，バランス
睡眠障害，夜驚，チック，消化不良，夜泣，便秘，喘息，気管支炎
排尿調節機構，4才
1 天柱風池，2 腎俞，次髎，3 天突，命門，霊台，4 人迎，風池
遺尿，遺尿，肝・疏泄，1 腎気虚，2 脾肺気虚
固摂，約束
固摂，水，約束
夜尿，淡，白，沈遅無力，顔色白，小便清長，精神不安定 男性
腎気，固摂機能，腎・膀胱の強化穴，補・灸
水，膀胱，下腹，水穀と運化，水，上虚

夜尿，淡，緩の沈細弱，倦怠，無力感，食欲不振，泥状便
肺脾，下焦，任脈，手足太陰肺，足陽明胃，補・灸
気海，太渓，肝俞，三陰交，足三里
1 中郭病院，2 大阪はり灸専門院，3 谷田指圧

東洋医学臨床論Ⅱ(内科) ⑥ まとめ

五臓は○を内に蔵する実質器官
腑は○の腑と○の腑に分けられる
それぞれ

神気
化, 奇恒
小腸・胃・大腸・膀胱・三焦 / 胆・髄・脳・胞・胆・女胞

肝	心	脾	肺	腎
魂	神	意	白魂	志
怒	喜	思	憂	恐
罷極之本	生	後天	気	
将軍	君主	倉廩之官	相傅之官、作強	
筋	血脈	肌肉	皮毛	骨
爪	面(血色)	唇	毛	髪
目	舌(味覚)	口	鼻	耳・二陰
涙	汗	涎	涕	唾
疏泄	神志	運化・昇清	宣発	収斂
蔵血	血脈	統血	粛降	蔵精

五臓六腑の大主

肝 心 脾 肺 腎
蔵象 精神系、五神
五志
○○の本
○○の官
司どる
五華
開竅する
五液
作用

*

- 肝は○をつかさどる ○や○を行きわたらせる
- 心は○や○を御主管理, 五神の御主を担う
- 心包は、心を包む心に代わって邪を受ける ○病は心包の病
- 脾は○・○・○をつかさどる。① 胃から送られた○・○・○の巡り ○の停滞がない, ② は○や○を上に上げる。利用は ○・○・○がある
  ③ は○と○に送ってから○が○に流れるようにする 利用が合う ○・○・○・○がある
- 肝は○・○を司り、水の○となる

疏泄, 気・血,
意識, 精神活動, 胆,
心脈
運化, 昇清, 統血, ①, 消化, 吸収, 営気
津液 ② 気, 血,
内臓下垂, 全身倦怠感, 慢性の下痢
営気, 肌中, 血, 肌外
出血, 血便, 血尿, 不正性器出血
宣発, 粛降

肝虚	肝実
心虚	心実
脾虚	脾実
肺虚	肺実
腎虚	腎実

曲泉, 陰谷	行間, 小府
少衝, 大敦	神門, 太白
大都, 少府	商丘, 経渠
太淵, 太白	尺沢, 陰谷
後溪, 経渠	涌泉, 大敦

出る

証、治療方針と経穴名

○上腹部痛 症状名

方針

例 ①腹 ②背

慢性の胃炎と腸炎、胃下垂、胆石症、胃神経症、神経性腸炎、過敏性腸症候群
疾病の後期と目的に推奨される腧穴と関連する腹部、背部の反応点に施鍼施灸する
①中脘、天枢 ②脾、肝、腎俞

○食欲不振 症状名

方針 ①

②

例 ① ②

急性・慢性胃炎、胃神経症に伴うもの
背部・腹部に鍼灸を加えることにより胃の働きを活発化する
精神を鎮静させる
① 中脘、巨闕、脾俞、肝俞 ② 白会

○のぼせとひえ 症状名

方針 ①

②

例 ①

②

③ レイノー

更年期障害
内分泌系、自律神経系を調節する
局所の血流を調節する
(のぼせ：血流誘導、ひえ：血流確保)
身柱、次髎、三陰交
足三里、太衝
中渚

○疲労と倦怠 症状名

方針

例

肩こり、身体がだるい、疲れた、気力が出ない
血流改善により全身の低酸素を回復させる
肩こりなど特異的な慢性の強い部位にも
対症的に処置を加える
肩井、腎俞、中脘、手三里、足三里

東洋医学臨床論Ⅲ

（感覚）

東洋医学臨床論 皿(感覚) ①

(10) 頭痛 診察 慢性→後頭部, 片側側頭部, 片側眼窩部
急性→前頭部+視力障害, 発熱ピーク頭痛, 意識・神経障害
過労性→動作で増強, 発熱・後頭部こわばり
緊張性, 拍動性, 牽引性, 意識障害 2つ
←→頭蓋内圧亢進の徴候
髄膜刺激症状の徴候

(11) 銅矢道感染 ○次性頭痛, ○.○.○
道感染ならない ○次性頭痛, ○.○.○.○.○.○.○
①は ○肉・○肉○でない. ○看目的, ○のみ○肉頭痛
○性○痛, ○側性, ○が○と伴わない ○~8の時間
②は 頭痛が○ってくる ○性, ○が気手にかの○の
古典型: ○が前駆症状 普通型は○, 月経時に作用
誘発因子 ○.○.○
③ ○部に ○時間続く, ○ヶ月間○わたり ○ことある ○(○.○.○.○) 随伴
銅矢治療 ①治療原則, 入ってない
②と③ 〃 〃
[東] 病因 外感3つ ①②③
内傷5つ ④⑤⑥⑦⑧
実証は ○と ○.○.○

(12) 外感性頭痛は ○性発症 ○い疼痛, ○はれ ○が主体
①は ○と発症し, ○性, ○である, ○を帯びる ○に数日, ○増悪
随伴 ○・○, ○はない, 舌○苔, 脈(○脈, ○脈)
②は ○性あり ○が○すると ○に痛む
随伴 ○.○, ○○○, 舌質○, 舌台○, 脈○.○
③は ○性で ○と○する ○ように○に痛む
随伴 身体が○, ○, 小便○, 大便○, 舌苔○, 脈○

(13) 内因性頭痛は ○発症, ○い疼痛, ○をこり ○ことある (三脈○.○.○と○) ○と増悪
④は ○により ○の○が悪くなる, ○すると増強, ○と伴う
随伴 ○.○.○○○○, 舌質, 舌苔, 脈○.○
⑤は ○の○作用が悪い ⑤が○して ○に影響する, ○痛, ○する
随伴 ○便.○.○, ○, 舌苔, 脈○
⑥は ⑥が○し 頭部の○が○する, ○性で○性の○ある痛み
随伴 ○, ○とわ, 舌質, 脈○.○
⑦は ○不足にあり ○が○になる, ○なる感じの痛み, ○と伴う
随伴 ○.○がない, ○, ○.○.○, 舌質, 舌苔, 脈○.○

緊張型頭痛, 片頭痛, 群発頭痛
緑内障, クモ膜下出血, 脳内出血
脳腫瘍, 髄膜炎
緊張型, 片頭痛, 脳腫瘍, 脳出血, 脳腫瘍
頭痛, 悪心・嘔吐, ち・乳頭
項部硬直, ケルニヒ徴候, ブルジンスキー徴候
一次性, ①緊張型, ②片, ③群発
二次性, 緑内障, 先端下-脳出血, 脳腫瘍, 髄膜刺激, 脳高圧
身体的, 精神的ストレス, 暴力, 締めつけられる 持続的
持続性鈍痛性, 雨, 嘔気, 嘔吐, 寒冷
頭痛発作が交互, 拍動, ヒロトニン, 脳血管 異常拡張
閃輝暗点, 前駆症状なし, 増悪
チョコレート, 赤ワイン, 精神的ストレス
眼窩, 1~2, 1~2, 自律神経症状(結膜充血, 流涙, 鼻汁, 鼻閉)
筋緊張緩和: 天柱, 風池, 肩井, 懸顱
自律神経刺激血管拡張(発作ないとき), 天柱, 完骨, 和髎, 陽白
①風寒, ②風熱, ③風湿
④肝陽亢進, ⑤痰濁, ⑥血瘀, ⑦腎虚, ⑧気血両虚
外感3つと肝陽, 痰濁, 血瘀
急性, 強い, 持続, 風邪
上部, 凝滞性, 気血と滞りが, 項脊部 風寒
悪感・発熱, 口渇ない, 薄白苔, 浮脈, 緊脈
発上性, 気血が頭部に色白, 割れそう
発熱, 口渇欲飲, 顔面紅潮, 目赤, 便秘, 紅舌, 黄苔, 浮脈, 数脈
重濁性, 陰気と阻滞, 締めつけられるように重く
重だるい, 胸悶, 小便不利, 大便溏薄, 白膩苔, 滑脈 なるべく
緩慢, 激しくない, 時々, 疲れると 肝, 腎, 脾
情志の失調, 肝の系統, 緊張 肝気鬱
心煩, 易怒, 不眠, 腸痛, 顔面紅潮, 口苦, 紅舌, 薄黄苔, 弦脈, 数脈
脾の運化作用, 疲労, 内生, 清竅, 前額部痛, 頭がぼんやりする
泥状便, 悪心・嘔吐, 胸苦しい, 白膩苔, 濡脈
内停, 脈絡, 阻滞, 慢性, 固定性, 刺すような
外傷の既往, 久病歴, 舌暗紫, 細脈, 滑脈, はしれること
腎精不足 脳髄, 空虚, 空虚な色じ, 脱毛
時痛, 際, 精神疲労, 耳鳴り, 不眠, 多夢, 紅舌, 少苔, 虚力, 細脈

⑧ ○が不足し腎と○できない。○雑、○ていない、○ない環境

随伴○、○、○、○、舌質、舌苔、脈○、○

○○による疼痛。④、⑤、⑥、⑦、⑧

[治療] 外感性 治法 ○、○。○と○で主とする

○と○を主とし。○と○で補強する

部位 頭痛部 ○の○経 経穴(○、○、○)

前頭部

後頭部

側頭部。

風寒性○、○、○ 風熱性○、○、○、風湿性○、○

内傷性、肝陽、治法○、処方例 4つ○、○○、○○

痰濁 ○、○、 4つ○、○、○、○○

血瘀 ○、○、2つ○○、○○、○

気血不足 ○、○、5つ○、○、○、○、○、○○

腎虚 ○、○、4つ○、○、○、○○

4つ

腎陰虚頭痛 発症性質、痛む部位、痛みの性質、随伴所見、誘発要因

片頭痛

群発頭痛

緑内障

クモ膜下出血

脳内出血

脳梗塞

髄膜炎

[耳鳴・難聴] 症状性耳鳴 ○ いろいろ高音 ○ いろ。

聴力の変化 ○、○の耳鳴 ○ といい。○、○の電圧感、○、○○で変化

○、○の8リズム、拍動 血管性、筋性

難聴、伝音性難聴の原因

感音性難聴原因

混合性、心因性

試験 聴力検査 ○ ○

前庭平衡機能検査

神経学的検査

⑤ 浮腫と言うもの ○腎(○水) ○の○ ○ ○ ○、(○、○)

○に発症している(○、○)

⑩ 意識障害

営血、気虚、隠痛、眩暈、痛みなど。

身体がだるい、心悸、虚欲不振、顔色不華、浮腫、竹苔、細脈、弱脈

④、⑤、⑥ 不眠 ⑦、⑧ 失養(不栄即病)

疏通外邪、通絡止痛、局部取穴 循環取穴

風池、太陽、頭痛部位、性質

足の厥陰肝経(曲泉、蠡沟、行間)

足の陽明胃経(上星、頭維、合谷)

足の太陽膀胱経(後頂、天柱、崑崙)

足の少陽胆経(率谷、曲鬢、侠渓)

風府、列缺、外関 / 合谷、陶谷、大椎 / 豊隆、陵墓泉

平肝潜陽、鎮静、懸顱、太衝(泻)、太渓(補)

化痰降濁、通絡止痛、中脘、豊隆、足三里、百会(泻)

活血化瘀、行気止痛、合谷(補)、三陰交(泻)、阿是穴

益気養血、和絡止痛、足三里、三陰交、陵墓泉、脾俞、百会(補)

滋陰養腎、通絡止痛、太渓、関元、腎俞、百会(補)

小児性、後頭部痛みを訴える、しかめっ面 ○

〃 片側の側頭部痛 拍動性 涙目、鼻水 ○

〃 片側の眼窩部痛 刺すような痛み、目が開けられない ○

急性、前頭部痛 —、視力障害 ×

〃 —、発熱ピークの頭痛、— ×

〃 —、—、発熱、意識障害、神経症状 ×

進行性、頭痛、神経症状、朝方で増強 ×

〃 、嘔吐刺激症状、発熱・後頭部こわばり ×

伝音性難聴、感音性難聴

無難聴性耳鳴、頸椎部、後頭部 / 疲労、睡眠不足、情緒的要素

睡眠、安静、血管圧迫、ミオクロニー、スパムの圧迫

外耳道異物、耳垢閉塞、中耳炎、耳硬化症、気圧変化、炎症

内耳炎、突発性難聴、メニエール病、脳神経系障害、内耳毒物、服用

梅毒・結核、神経症

リンネテスト、ウェーバーテスト

ロンベルグテスト、マン検査、感覚書字検査、歩行検査、閉眼足踏検査

膝叩き試験、指鼻指試験、膝踵試験

音が聞こえが悪くなった(中枢性難聴)、片側耳閉塞感、痛み

(耳垢閉塞)外耳道異物)、急性に発症(中耳炎、突発性難聴)

無難聴性耳鳴

Date 6

東洋医学臨床論Ⅲ ②

(出) [治療] 耳鳴○と○，難聴○の○

(会) 見本の治療方針 ○と○1.○の○を問いなさい

無難聴性耳鳴 ○.○.○.○で○により改善する経穴○.○.○次主穴位

例

感音性難聴の原因個所 ○.○.○が1点，○に異物が○

(解) 耳鳴，難聴あり．位置・感音なし．めまい：なし

あり 感音性 あり（なしの場合）

あり 伝音性 なし

(11) めまい ○1と○2，①は○の○とする，②○はめまい

(出) 問診項目

発症のしかた 急性○.○.○.○，徐々に○性

経過 単発性○.○，反復性○.○

持続性○性疾患 進行性○ ○

性質 回転性 ○ ○ ○ ○

非回転性 ○，○

持続時間 秒単位，○.○，1～2時間○，～数日○，1～2週間○

随伴，脱落症状 ○（○は聴覚）．○

神経症状○，聴覚，視覚のどれか2○，麻痺，神経，感覚○

変性ビ○の疾患○，相対性の疾患○性のめまい

誘発因子 2つ

○検査、上肢○検査：手の偏り→○障害．手のふらつき→○障害

下肢 Romberg法陽性○○障害，開眼，閉眼で悪化，閉眼

閉眼失調性 閉眼時歩行○○障害，位置覚の障害○○

注視眼振検査 どちらか片方○障害，注視なし眼○障害

十脳指鼻，血圧検査 ○テスト：○の方を優先

(出) 中枢性の障害：脳幹症状○.○○／直進性で中枢症状随伴

高振幅非回転性○（○思い）

(11) 適用しないもの ○，症状○，○がないめまい，○性，○感

治療方針 ○や○.○，○の症状を選択

経穴例

改善が期待できない疾病，時期

(解) 回転性 ― 単発 ― 蝸牛神経症状 あり(解)／なし○

反復 ― 〃 あり／なし○

非回転性 ― 反復 ― 〃 あり／なし

増悪 ― 〃 あり／なし

無難聴性耳鳴，難聴伴う鬼門ずれ，突発性難聴の初期

自律神経を刺激．内耳の循環改善（リンパ液）

後頭部 側頭部 後頭部 側頭部，百会，／耳後，頭頂，前頭部 ～眉間

耳門，聴会，翳風，完骨，風池

耳門，聴宮，聴会，翳風，合谷直刺

◎無難聴性耳鳴

°メニエール病，°突発性難聴，外リンパ瘻（音響性聴覚障害）

°中耳炎，耳垢閉塞，外耳道異物

回転性，非回転性，①くるくる回り始める感覚 ②浮動性

発症の仕方，経過，性質，持続時間，随伴症状，誘発因子，改善度

メニエール病，前庭神経炎，突発性難聴，良性発作性頭位眩暈症，中枢性

前庭神経炎，突発性難聴／メニエール病，良性発作性…，起立性低血圧

中枢性，脳性麻痺，神経鞘腫

メニエール病．前庭神経炎，突発性難聴，良性発作性…

中枢性疾患（性病，重症）．起立性低血圧

起立性低血圧，良性発作性…，メニエール病，突発性難聴，前庭神経炎

突発性難聴（感音性難聴），メニエール病

中枢性疾患，ラムゼイハント症候群，小脳指鼻検査（脳神経鞘腫）

クモ膜下出血，片頭痛

頭位変換，起立動作

聴覚音叉検査，前庭，小脳

十脳，内耳，補充（後索）

片側内耳，脳幹，両側内耳，小脳

末梢障害，中枢障害

指鼻指示検査，ニューロンブラット：起立性低血圧

クモ膜下出血，十脳出血，脳性麻痺／脳性麻痺，脳血管障害

一過性脳虚血発作TIA，眼前暗黒感

めまい感，肩こり，自律神経失調症，浮動性，眼前暗黒感

内耳や脳内の循環改善，耳周囲

和膠，完骨，翳風，陰陵泉，風池，肩井

メニエール病，良性発作性頭位眩暈症，後所刺（ケン）

(解) 感音性難聴：突発性難聴◎／風邪誘発：前庭神経炎

メニエール病◎／頭位誘発：良性発作性頭位眩暈症 BPPV

―／眼前暗黒感：起立性低血圧

難聴性・聴神経鞘腫／ふらつき感性：小脳疾患

◎は治療が可能なもの

[東] 耳の鳴り難聴 実証 2つ 虚証 2つ

① ○発生し、耳が○して痛む、○による○の関節→○(50)

随伴 ○.○.○ 舌 刷

② ○い耳鳴、○がある、○や○で腎虚傷○指能低下→○まる

随伴 ○.○, 舌 刷

③ ○に発生、○と増長、○に強くなる。○.○.○による○が緩和される

随伴 ○.○.○.○, 舌 刷

④ ○なると増悪、○.○いより腎虚弱ともり○が悪化し発症しない

随伴 ○.○, 舌 刷

[方剤] 肝火: ○: ○.○経に○法、○に○法

例

痰火: ○: ○.○経に○法

例

腎虚弱○: ○.○経 一つに

例

腎精不足○: ○経に○法を施し○を補

例

[東] めまい 実証 2つ 虚証 2つ

① ○で伴う、腫れ、○と伴う○と増強、○や○で○の緩和○が頂度

随伴 ○.○.○(○悪い), 舌 刷

② ○性のめまい、○が○なる。○により腎虚傷○低下○発生

随伴 ○.○.○.○, 舌 刷

③ よくある、○と現れ、○により誘発、○になると○の不足し眠と発症しない

随伴 ○.○.○.○ 舌 刷

④ ○と伴う、○.○.○なると腎精と不足

随伴 ○.○.○. 舌 刷

肝陽亢進○: ○.○に○法、○に○法

例

痰濁 ○: ○.○に○法 ○を陰

例

気血両虚 ○: ○.○に○法

例

腎精不足 ○: ○に○法し、○を補う

例

肝火上炎, 痰化 2つ 結, 腎精虚損 腎虚弱

突然, 腫って, 情志の失調, 疏泄機能, 肝2つ化火

頭痛, 心煩, 咽頭の渇き, 紅, 黄, 弦, 数, 有力

激しい, 耳鳴感, 口苦, 異食, 思慮過度, 硬化, 痰→痰火

頭重感, 胸悶, 紅, 黄舌, 滑数

次第に, 疲れると, 夜間, 先天性, 老化, 房過多, 腎精不足

めまい, 遺精, 腰のだるさ, 不眠, 紅, 少, 細弱

疲労, 労倦, 飲食不節, 気血の生成

倦怠感, 食欲不振, 淡, 薄白, 虚弱

清肝浮火: 肝・胆経に浮法, 腎経に補法

翳風, 聰会, 太衝, 丘墟

去痰通竅: 脾・胃経に浮法

翳風, 聰会, 豊隆, 労宮

健脾益気: 脾胃経に補法

翳風, 頑会, 脾俞, 足三里

補益腎精, 腎, 補, 腎精

翳風, 聰会, 腎俞, 太溪

肝陽亢進 1, 痰濁 2, 気血両虚 3, 腎精不足 4

耳鳴, 頭痛, 怒る, 怒り, ストレス, 疏泄機能, 肝陰↓→肝陽↑

イライラ, 怒り, ぼい, 不眠(寝つき悪い), 紅, 黄, 弦, 数, 有力

回転, 頭が重いもんやり, 労倦, 飲食不節, 運化機能, 痰濁

胸悶, 悪心, 食欲不振, 体が重だい, 白腐, 滑

横になると, 疲労, 脾胃虚弱, 気血の生成

顔色蒼白, 思われ, 食欲不振, 話すのがおっくう, 淡, 細弱

耳鳴, 先天性, 老化, 房事過多

健忘, 腰や膝だるい, 遺精, 紅, 沈細, 精液不足→紅

平肝潛陽: 肝・胆経 浮法, 腎経 補法

風池, 侠溪, 太衝, 太溪

健脾化痰: 脾胃経 浮法, 痰濁

中脘, 豊隆, 陰陵泉

補血益気: 脾・胃経 補法

百会, 脾俞, 膀胱俞, 足三里, 三陰交

補益腎精: 腎経, 補法, 腎精

腎俞, 太溪, 関元, 懸鐘

東洋医学臨床論 III

③

(四)脳血管障害 徐々に発症，軽度時○：原因，急速：原因
治癒時，急速：○の多い．脳梗塞：原因
脳梗塞の前駆症状：○の可能性

脳血栓症：アテローム硬化，脳塞栓：心原性脳梗塞
脳出血：高血圧多い，クモ膜下出血：脳動脈瘤破裂
一過性脳虚血発作 TIA：脳血栓の可能性

・片麻痺 急性期：○，慢性期：○の軽○の軽：○，○+○
(五)治療方針 ○いる○と並行して鍼灸治療をしない
○，○と○の○いない回復過程の時

例
① 経元ろう
② 上肢：○・○の○群，下肢：○群，例：上腕○，前腕○○
③ ○の利筋，上方1/3，中央1/3，下方1/3は原因○

・顔面神経麻痺，顔面性，感覚，副交感
鍼灸治療が可能なのは ○性か○性 ⟷ ○性
①の症状 ②の症状
しめ寄せ ①は○ ②は○，可・不可
中枢性で左側に障害→しめる○，○が下がる
中枢性で急性，末梢で急性
末梢性で治ると
他の症状 ○症状の有無，○○○，耳介○の変化
・注意を要するもの ○性，○性麻痺，○性，○性○性の○性
①は○.○.○などと伴う ○
②は○.○と伴う ○
鑑別となるもの ○と○
③は ○→○，○，○，○味覚障害
○，○分泌，○分泌障害
④は○の感染による，外耳炎○出現，○や○○とする
治療方針 ○を良好にし筋の○を防ぐ，○の回復と経過
例．新宿が4，次3 上肢1

(四)運動麻痺(脳血管障害) 証が3つ
① ○○，○○麻痺，病位○く，症状○い 悪心
② ○.○，病位，麻痺，舌苔，脈，二便
③ ○ ○，病位 陽位，脈，二便，○水能
治療① 顔不随 ○.○/○ 経の経元 急性○法，慢性○法
例 上肢○.○.○.○ 下肢○.○.○○○
② 口眼歪斜 ○.○ /手足○経，足○経，急性○法 慢性○法
例

四星脳，開窓法，回復期，維持期：①拮抗筋パルス，②頭皮鍼+リハビリ
リハビリテーション，物理的回復訓練
脳循環改善 麻痺神経・筋の刺激
天柱，曲池，合谷，伏兎，足三里
内関，人中，三陰交
前腕，上腕，伸筋群，橈骨筋群，上腕三頭筋，外関，手三里
頂嚢部(ちょうのうぶ)，下腹，上肢，側頭部
表情筋，舌2/3前味覚，唾液(舌下，顎下腺)，涙腺
末梢性，[1]末梢性，[2]中枢性
ベル麻痺，ハント症候群，[2]脳血管障害(脳出血 脳梗塞)
[1]不可能，[2]可能
寄る，右口角
脳出血，脳塞栓 / ベル麻痺，ハント症候群
耳性，腫瘍
内耳，耳痛，耳漏，耳閉感，疱疹
両側性，中枢性，[1]耳性・外傷性・腫瘍性の末梢性麻痺
耳痛，耳閉感，耳鳴り，難聴…中耳炎
耳鳴り，難聴，聴神経鞘腫
[3]ベル麻痺，[4]ハント症候群(帯状疱疹ウイルス)
表情筋の麻痺，しめ寄せ不能，閉眼不全，口角下がり，前2/3
聴覚過敏，唾液，涙
帯状疱疹ウイルス，疱疹，めまい，耳鳴，難聴
血行，毒素，神経機能
陽白，四白，地倉，翳風 / 天柱，風池，完骨 / 合谷
中経絡 [2]中腑府閉証，[3]中腑府脱証
半身麻痺，顔面麻痺，渋く，軽い，黄膩，弦滑
突然の昏倒，意識障害，深く重い，紅，黄膩，弦滑，
突然の昏倒，意識障害，深く重い，脈細弱，もれる，
疏通経絡，補和気血 / 三陽，浮法，補法
曲池，手三里，外関，合谷，環跳，陽陵泉，足三里，解溪，崑崙
疏通経絡，補和気血 / 陽明大腸胃，厥陰肝，浮法，補法
地倉，頬車，合谷，内庭，太衝

②中脘前閉証 ○ / ○穴と○, ○・○経に○ある
例 ○.○.○,○

③中脘前脱証 ○ / ○脈に○, ○とする
例

顔面神経麻痺(○.○) 病因 ○○ 症状○
① ○.○経を侵し、○のめぐり○の栄養をわるくする
病態 ○不用を, ○下がる ○消失, ○と○

(土)随伴症状 3つのタイプ ○タイプ×3
③は ○,○の疼痛, ○となる
④は ○の2/3の○, ⑤は ○の○,○
舌. 脈

② ○.○経を侵す. ○不用を ○下がる, ○不用を
随伴 ○. 舌, 唇, 脈
治療. ①と②脈 ○ / ○.○経を証選, ○は まし○を加える
例 ○ ○ ○ ○. ○ ○ ○ ○

(水)パーキンソン病の診断基準 ①パーキンソニズムは ○の症状, (○.○.○)の3つ以上
2 ○に変化がない, 3 ○が○をとってない, 4 ○にて改善する.
視診, 表情○, 姿勢○.○, 歩行○,○, 不随意運動
理学検査: 筋トーヌス異常○傾○, 深部腱反射 ○
鑑別. 前傾は ○, 伸展姿勢 ○パーキンソニズム, 振戦: 安静時○/全身的の動作○
歯車様固縮○, 筋強縮○, ○パーキンソニズム, 反射亢進 ○と○パーキンソニズム
脳血管性パーキンソニズムの症状 ○に出現 ○特徴的, 振戦○, 進行○遅い
神経変性疾患による残る4つ ○. ○. ○
特徴
4つ目
○と特徴
治療方針 ○.○の緩解, ○の後和
①の例 特効. 2 腹部 5つ
下肢 6
②の例 ○~○, ○~○ ∧ ○-○Hz
(水)脱毛症. 適用○. 注意○.○
① 原因○. ○.○.○が考えられる
発度 ○期.○期, 症状○がない, ○が生じる, ○重
化の脱毛症. ○○脱毛症. 円形脱毛. 全頭, 全身
予後 ①は ○が強い

脊柱周辺, 十二井穴, 人中, 肝経, 胃経, 浮
十二井穴, 人中, 太衝, 豊隆
風陽風脱, 任に灸, 刃灸,
関元, 神闕
風より, 口眼歪斜(めいず), 1風寒 2風熱, 実証
陽明, 少陽, 経絡, 経筋
閉眼不可能, 口角, 鼻唇溝, 前額のしわ寄せ不可能
3少陽タイプ. 4陽明タイプ, 肝血虚タイプ
3耳後, 耳下, 眼窩退散
4舌の前, 味覚障害, 5筋の拘縮, めん縮
薄白, 浮緊
陽明, 少陽, 閉眼, 口角, 前額のしわ寄せ
風寒と同じ, 紅, 黄, 浮数
散風通絡, 陽明, 少陽 風, 寒
地倉, 頬車, 風白, 陽白, 翳風, 太TT, 合谷, 風池
左右差のある安静時振戦, (無動, 固縮, 姿勢反射障害)
2. 脳CT. MRI. 3. 薬物, 毒物 4抗パーキンソン病薬
仮面様顔貌, 前傾前屈, 小刻み歩行, すくみ足, 丸薬まわし運動
歯車様固縮, 正常
本態性, 脳血管性, 本態性パーキンソニズム, 小脳性, 本態性振戦
本態性, 薬物・脳血管性, 銅代謝障害, 脳血管性
下肢, 鉛管, 少ない, 段階的にすす, 振パーキンソン病薬効果なし
進行性核上性麻痺, シャイドラガー症候群, オリーブ橋小脳萎縮症
体幹の固縮, 姿勢保持, 自律神経症状, 小脳症状
視覚体温感受性症 -- パーキンソニズム及びしま
1筋固縮, 2振戦, 自律神経症状の後和
膝脱臼行使, 華佗夾脊穴, 1任脈上, 天枢, 期門, 章門, 大横
風市, 伏兎, 血海, 梁丘, 足三里, 陵墓泉
陶池~合谷, 足臨一三陰交, 2-6Hz
1円形脱毛症(通常型), 2壮年性脱毛症, 3トリコチロマニア
不明, 精神的ストレス, 遺伝的背景, 自己免疫による
学童期・青年期, 前駆症状, 境界明瞭な脱毛斑, 通常型
蛇行性, 全頭, 汎発性
自然治癒傾向

Date 7 8 25

東洋医学臨床論 Ⅲ ④

○ 脱毛部の治療, ○と開かないで○と○に○鍼で○する
○部○と○部に○大きいお○灸

○ 脱毛部以外: ○に刺して, ○・○・○などの反応点
例 ○.○.○, ○

② 壮年性脱毛症 ○→標的刺鍼→○( )→○

③ トリコロノニア ○で引っ掻く, ○○が基盤になる
男性: ○多い, 形状: ○な○, 部位 ○側, ○.○
全身疾患 ○障害(○.○) ○原

[弟] 実証 ○.○, 虚証 ○.○

① ○型 ○刺激 → ○→○により○がおこる, ○に作用
状況 ○が全に○脱毛する, 随伴
舌, 苔, 脈 — ○症状, 多少○多い

② 精神的刺激→○→毛髪が○なくなる
状況 ○的や○的に脱毛する. ○的に発症する, 随伴○が○
舌, 脈

③ ○・○→○→毛髪が○なくなる
状況 ○に○が脱毛し○になる, 効果が○して○
随伴 ○.○.○.○
舌. 苔. 脈 ←○

④ ○による, → ○→毛髪が○なくなる
状況 ○的に○や○から脱毛, ○が○多い, ○が○
随伴症状 ○.○.○.○

㊤ 舌 苔 脈 ←○

[治療] ① 血熱: ○…○・○経に○法
例 ○○○○○

② 瘀血…○…○・○経に○法
例 ○.○.○.○

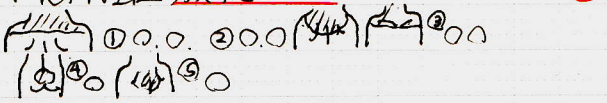
③ 気血両虚…○…○・○経に○法
例 ○.○.○.○

④ 肝腎陰虚 ○…○・○経に○法
例 ○.○.○.○

⑩ 小児, 通例となるな4つ ○症(○症), ○症, ○, ○
注意して手すれば

局所の血流改善, 脱毛部, 頭部全体, 梅花鍼, 撥刺鍼
脱毛部中央, 境界部 半米粒大, 糸状灸
精神的因子, 筋緊張, 圧痛, 硬結
天柱, 肩井, 風池, 四神聡
アンドロゲン, テストステロン→DHT(5αリダクターゼ)
自の手, 心理的背景, 性格
女性(2回), 境界明瞭な脱毛斑, 利き手側, 前頭, 側頭部
内分泌障害(アジソン病, 甲状腺機能低下症), 糖尿病
1血熱, 2瘀血, 3気血両虚, 4肝腎陰虚
円形脱毛型, 精神→心火亢進→血熱, 内因 一過型
自覚症状, 発熱, いらいら, 便秘, 口渇, 尿が濃い
紅, 黄, 数, 熱, 若者
気滞血瘀, 栄養.
部分的, 急性的, 持続的, 口渇, 多く飲まれるもの, 熱色黒, 動脈
暗赤, 濇(しぶし)
慢性疾患: 出産, 気血両虚, 栄養
徐々, 頭部全体, まばらになる, 乾燥, 艶がない
息切れ, 心悸, 疲労感, 食欲不振
淡, 薄白, 細弱
加齢, 陰血不足, 栄養 ← 虚証
持続的, 頭頂部, 両側角, 頭皮の油脂, 毛が細い.
耳鳴り, めまい, 不眠, 腰下肢のだるさ
紅, 少, 細・数 ← 陰虚証
清熱涼血, 心, 心包, 肺
内関, 通里, 曲沢, 三陰交, 太渓
活血化瘀, 脾・肝, 肺
膈俞, 三陰交, 血海, 風池
補血益気…脾・胃, 補
足三里, 三陰交, 陰陵泉, 脾俞
滋陰清熱…腎肝, 補
腎俞, 太渓, 血海, 足三里
① 小児神経症(疳虫症), 小児夜尿症, 小児喘息, 肩桃炎
てんかん, 胃腸, 尿路・排泄, 虫垂炎

①小児神経症 顔貌 3つ



例 ○による○の○で分ける，小児神経症.○○.
小児喘息.○.○○，小児夜尿症.○.○，扁桃炎.○.○
不登校.○.○.○

②小児鍼灸 ほぼ必須 男児，女児 ちりめん灸○
前，指腹：頭～胸～腹～手の○，下腹の○側.
前，摩擦：胸～腹～手足の○側.○を強化する
背部 ○筋～○筋など○，印堂と○経

③眼精疲労 ○によって多い．随伴○○○○○
○○眼精疲労：①近視 ②斜視 ③結膜炎 ④視力低下 ⑤ドライアイ
⑥老眼 ⑦白内障：至る時に強い
適用となるもの ○，○(○.○)，○(○.○)
・緑内障 ○のトップ，他に○.○.

④治療方針：眼の○や○の疲労の改善
○おさえ ○の○などの交点に鍼灸
例 頭皮○.○.○，後頭部○.○.○

⑤眼精疲労は○.○.○と訴える一定の○症候群
[東] 病因2つ，目の使いすぎで○を消耗する
目に関する経脈 ○経
症状 ①○.○.○.○ ②は.○
鑑別 ①と②は同じ○.○，①は○.○.○
①舌 苔 厚い ②舌 厚し
治療 ○・○経に○法，○を補う

③鼻炎・鼻汁，抗原物質○まとう○，不明○，困難と○という
分類：くしゃみ：季節性アレルギー(花粉症)/通年性アレルギー
症状：○ 吸入○回 / ○が多い
合併症 ○.○ / ○.○
①と②の鑑別 ○・○性 ○性
注意 喘息の要注意(上気道)症状，一例の○.○，○
○.○痛，○痒，他に注意すべきもの
適応となるもの ○(○.○)
方針○で調節，○指腹圧上，○部の経穴，○部の硬結・反応点
例

顔色が青白い，眉間に静脈怒張，毛髪の逆立ち
①夜泣き，不眠 ②奇声，咬む ③風邪，扁桃炎
④夜尿症 ⑤食欲不振
小児鍼，全身按摩，指腹刺激，天柱，風池
天突，俞府，雷台，腎俞，次髎，人迎，身柱
38℃以上の熱，急性腹症，腹痛症
左肝俞，右脾俞，右肝俞，左脾俞，/ 身柱
陽経，陽経
陽経，発赤
指腹鍼，摩擦鍼，発赤，膀胱経
頭痛，眼の疲れ，眼痛，頭痛，肩こり，めまい，圧迫感
1 調節障害 2 筋性 3 症候性 4 症候性 5 VDT症候群
6 全身疾患性 7 心因性
①，②金針法，聴覚障害 ⑥低血圧，更年期障害
失明，糖尿病性網膜症，加齢黄斑変性症
毛様体筋，調節機能
眼の周囲，後頭部の筋緊張
攢竹，太陽，睛明，風池，天柱，肩井
頭痛，眼痛，眼の疲れ，不定愁訴
1 肝血虚，2 肝腎陰虚，精血
任脈，十脈，腎脈，三焦，胆，肝，胃
目の乾き，目のかすみ，瞼が低下，目の焦点 ②も同じ
めまい，耳鳴り ①不眠，手足しびれ，ふるえ ②健忘，五心煩熱，口渇，腰痛だるい
① 淡，白，細 ② 紅，細弱
腎，肝経に補法，精血不足
鼻アレルギー，アレルギー鼻炎，血管運動性鼻炎，鼻過敏症
屋外で多い / 起床時に多い
くしゃみ 鼻汁 吸入5～6回 / 鼻閉が多い
目のかゆみ，流涙 / 皮膚のかゆみ，喘息
鼻汁好酸球検査 ①陽性 ②陰性
悪臭性，血性鼻漏，鼻閉
歯痛，頭痛，顔面痛，顎部腫脹，鼻中隔湾曲症
鼻過敏症(アレルギー性鼻炎，血管運動性鼻炎)
自律神経失調，慢性副鼻腔炎/鼻，後頭部
印堂，迎香，攢竹，風池，鼻通穴

Date 8 25

東洋医学臨床論 III －⑤

(iii)不眠　分類3つ　○○不眠，適用は○．
他と適用のもの
注意と要なもの　○や○

(ii)治療方針　○と○など．○とは分け要(病理)と
断ち．神経質な患者には○な配慮必要
別

[東] 病因分類　実2，虚1．鎮静推証1
④の治療　○．○．○○　に○法を施す

(iii)発疹　適用となるもの　2つ
治療方針　発症時○の○，間欠時○の○
別

[東] 実証(急性)3つ．虚証(慢性)1つ
治療　それぞれ○法

(iii)鼻閉　P.8の
[東] 実証2つ　虚証2つ
治療方針

1 松会性，2 神経性，3 症候性，①と②
むずむず脚症候群
統合失調症，うつ病．
精神的障害と鎮静　金属調整
心理的
百会，意会，天柱　風池　完骨，肩井
1 疾熱，2 肝火，3 心脾両虚，虚実挟雑証，4 心腎不交
腎，心，心包，肝経に補法と施す
アレルギー性じん麻疹，人工じん麻疹
神経障害の鎮静．反応とそこしやすい体質の改善
天柱，曲池，足三里，膀胱兪，郭風池
風熱，風寒，胃の湿熱，気血両虚
肝経(浮)　肝経(浮)(浮)胆胃大腸(浮)，脾胃(弱)

肝胆の3つ熱，脾経湿熱，肝気虚，脾気虚
大腸肝・肝に浮，脾・胃に浮，肺弱大腸浮，脾胃補

東洋医学臨床論Ⅳ

（外科）

東洋医学臨床論 IV (外科) ①

[I] 下部尿路 (蓄尿): 求心路 → 中枢 → ○ 神経 → ○.○

大脳皮質 ○ の抑制 (下丘脳) → 大脳皮質 → ○ 神経 → ○

(排尿) 求心路 ○ → 中枢 ○ → ○ → ○ 神経 (骨盤内臓) → ○

大脳皮質 → ○ 神経 → ○

○ 尿の排泄障害と ○ (異常) とし、○と○を包含する

① ○ は、それぞれ ○ (異常) とし ○.○.○ に大別される

QOLに影響を与える ○ が挙げられる

① には ○ (10回以上), ○ (10回以上), ○, ○.

② には ○ ○.○. ○, ○, ○. ○ がある。

③ には ○. ○ がある

⑥ の疾患名 ○ (異常), ○

④ は ○ 障害で生じる ○. で ○ と ○ と伴う, ○ も伴う

原因 ○ 性 (○.○ 症状) と ○ (○. ○. ○.○) がある

防御: 代償の改善 ○ ○. ○. ○

⑤ は ○ が特徴, ○ 性, , ○ がある

④ は ○ が共通症状で ○ (○○) や ○ と伴う

○ 性や ○ 不全の ○, 評価の ○ が行われる, 切迫感の ○ を伴わない

排尿と同時に ○. ○. ○ が起こる 尿閉度へ

⑤ は ○ 才以上の ○ 性 で多い

[II]

○ 夜間頻尿 40才以上の ○%. 原因 ○.○ (○.○), ○ に分類

① は 尿量が 1日の ○ より多くなる, ② は 1回排尿量 ○ より下がる

○ 排尿困難 は ○ 排尿 ( ) や ○ 排尿 ( ) となることを

原因 ① ○ (○.○.○.○),

② ○, 基礎疾患の ○. 症状 ○.○.○

○ 夜間頻尿 原因 ○. ○. ○, ○ となって

排尿筋 括約筋 協調 不全. 原因 ○, 低活動膀胱

[III] 尿失禁 は ○ 症状の 1, 4 ○ 性尿失禁

① ○.○.○.○ にもある, 病態 ○ が ○ が 因子

基礎疾患 (適否)

② ○ と同様にある 病態 ○ による, 基礎疾患 (適否)

③ 尿が溜まって ○ で 尿が滴下 病態 ○ 以下の ○.○

基礎疾患 ○, ○.○ (適否)

④ 尿意と ○ で, 尿が漏れる ○. 原因 ○, 基礎疾患 (適否)

1 骨盤神経, 2 腹下神経, 3 下腹神経, 4 膀胱枝, 5 内尿道括約筋 収縮

6 抑制. 7 抑制. 8 陰部神経. 9 外尿道括約筋 収縮

1 骨盤神経. 2 抑制解除. 3 抑制 抑制 解除. 4 膀胱 弛緩 排尿 中枢

5 下腹神経 6 交感神経 抑制, 7 内尿道括約筋 弛緩 収縮. 8 骨盤神経 9 副交感 弛緩. 10 膀胱 収縮

11 陰部神経 → 外尿道括約筋

下部尿路 機能障害 1 LUTD, 蓄尿障害, 排尿障害

下部尿路症状 (LUTS). 1 蓄尿症状. 2 排尿症状. 3 排尿後症状

蓄尿症状

昼間頻尿 (8回). 夜間頻尿 (1回). 尿意切迫感. 尿失禁.

尿勢低下. 尿線分裂, 散乱. 尿線途絶. 排尿遅延, 腹圧排尿, 終末滴下

残尿感. 排尿後尿滴下

4 過活動膀胱 (OAB), 5 前立腺肥大症

蓄尿障害. 尿意切迫感, 昼間頻尿, 夜間頻尿, 切迫性尿失禁.

神経因性OAB (脳血管障害, 脊髄損傷).

非神経因性OAB (下部尿路閉塞, 加齢, サイ毒 感染障害, 特発性 (約80%))

膀胱炎. 膀胱結石. 膀胱癌, 前立腺癌

蓄尿症状と排尿症状が共存, 男性のみ, 残尿感

尿意切迫感 頻尿 (昼間, 夜間) 切迫性尿失禁.

成人女性 50. 男性, 過活動膀胱症状 夜間尿, 2. 3

尿混濁, 血尿, 排尿痛

50才以上の男性

1 夜間多尿. 2 膀胱容量減少 (前立腺肥大, 過活動膀胱). 混合型, 50%以上

1/3, 200ml以下

遷延性排尿 (排尿延長). 再遷延性排尿 (終末滴下)

下部尿路通過障害 (前立腺肥大症, 膀胱癌, 前立腺癌, 排尿筋括約筋 筋肉全

低活動膀胱, 糖尿病, 骨盤内手術, 尿勢低下, 尿線途絶, 腹圧排尿

中骨盤穴への麻酔術, 中大脳, 三陰交, 最大膀胱容量増大

中髄穴, 効果なし

蓄尿, 1 腹圧性, 2 切迫性, 3 溢流性, 4 反射性

労作時. 咳嗽時, くしゃみ. 咳 / 尿道過可動, 内因性括約筋不全

加齢. 分娩. 骨盤内手術 (効果低い)

尿意切迫感, 排尿筋過活動. / 過活動膀胱, 前立腺肥大症 (適否)

膀胱の収縮を伴わずに尿が漏れ. 低髄排尿中枢以下の末梢神経障害 下部尿路閉塞

寝たきり病性こっこ-ひ/ょ4-, 骨盤内手術, 前立腺肥大 (不適応)

伴わずに尿が漏れる. 上位中枢の抑制 遮断. 高位脊髄損傷 脊髄腫瘍

○治療、同じく○%ガイドラインあり

○切迫性尿失禁：経元，反射性尿失禁

前立腺・尾骨手術後の尿失禁：経元

(主)○術後は下部尿路リハビリ、○法(対象)、○法、○体操、(対象)

行うこと

[IV] 夜尿症，昼間○症，夜間○症(○症)という

○考え上の○を○ば，分類2つ○和夜尿症(○割)

①の分類 ○、○、○型，原因○の未熟さ、

②の原因 2つ ○、○、

治療3つ ○(○)，○(○→○)，○療法

③は事ハ…ばば 治癒率は○、再発率は○，事和及

○治療、夜尿症の経元は、○となった

[V] SD：日本語，ED

EDでは「性交時に十分な○が得られない」ために満足な○ができない

水準で慢性性交の和ンスの○%以上で性交ができて満足

推定患者数は○万人以上 40才代 50才 60才，20-30才○%治療対象

不妊症の○%は男性因子が関与

EDの分類 大きく3つ

① 2つ ○性：○、○，○性：○

② 4つ ○性：○性、○性，○性：○性、○性

○性：○症(○ホルモン)，○性/問診

[VI] 主元，EDの和及

効果が高いもの ○性の方法は ○性、①性 ○性

経元 ①へのアプローチ 治療法 ○、○(　)

[6] 痛みとは○に対応しておらず○なのであれば○のこと

(主)(1) 分類 時間的 ○○疾患 ×2

① ○○性の痛み 治ると痛みは○、○は痛みの1つ、○の役割

② 傷が○、ても ○は，痛みはのこるが○

(2) 原因別分類 ○○疾患、③○系

③ 2つ ○痛 ×2、○○受容器(筋の刺激)

神経の○，神経伝導路の○と○

④ 2つ ○○性疾患 ⑤○、⑥○

⑤ は○の ⑦○ が ⑨○ になってしまった ⑧○ この神経障害

⑥ は○がない ○、○に重ねがかかれる

70%

中枢，中背髄

三陰交

膀胱訓練法(切迫性尿失禁)，骨盤底筋訓練法：ケーゲル体操(腹圧性)

排尿を我慢する，ACHE阻害剤を使用する

昼間遺尿症，夜尿症(夜間遺尿症)

5. 遺尿，①機能的(刺激)②器質的(2割)

膀胱型(容量減少)，多尿型，混合型，尿意・完全型機構

夜間多尿(尿崩症・抗利尿ホルモン)，膀胱機能障害(尿道狭窄)

生活指導(飲水量制限)，行動療法③(夜尿アラーム療法：膀胱容量増大・尿意)

同伴反，低い、抗利尿ホルモン剤

中背髄，中枢，三陰交，夜間膀胱容量が増大

男性性機能障害，勃起障害

勃起，性交

75%

1000万人，20%，40%，60%，70%，10%未満

50%

①機能性ED，②器質性ED，③混合性ED

心因性：ストレス，精神的外傷(PTSD)，精神病性：うつ

血管性：動脈性，静脈性，神経性：末梢性，中枢性

内分泌性：性腺機能低下症(テストステロン)，陰茎性，/IIEF5スコア

腎虚，次髎，関元，気海，陰茎

内分泌性，静脈性，/心因性，精原病性，神経因性

中髎，中髎，陰部神経刺激点(筋弛緩)

損傷，不快，感覚，情動体験

①急性，②慢性

一過性，消える，急性疼痛，警告効果

治っても，持続する，疾患

③侵害受容性疾患，④非侵害受容器疾患

体性痛，内臓痛，ポリモーダル

自由神経終末，AS C線維

⑤神経因性，⑥心因性

神経系の損傷，⑧機能異常，⑦器質的変化，視床痛 ⑨特発性 三叉

身体的変化，感情，情動因

Date　　/0

東洋医学臨床論 IV　②

治療法47　○.○.○.○ 主治

注射

○腸炎ウイルス(消化器手術)，例 ○.○〜○

[7] 手術以後病　直後の○病は○病で○病となる

持続する　は○長病で○長病で○となる

原因　3つ ①○〜ウ ②○経絡(○ハ経気,ツボ○) ③手術

症状　○.○　○が走るような病み,創部と○と○で起こる

④は○的,神経領域,範囲,原因

○的

5腹壁反射,6肩反射,⑤⑥○と直,て上

診断　○後で○以上持続,大モ(2つ)○長病症候群

○急性病.○と○への○,指数○(0〜0m)で○嗜好

○赤ワ御いて○指数(ワ3ワ+)ド用手ヌ

○慢性病 患部○ように○を用いて○(0〜0m)で○嗜好

慢病理論○談(○と○により異)

[8] 頭痛は①○や②○病があり,それ以外に○症,○病(○○筋)や

病気の二次発症の○,○病がある.③の孤発な○病

① 病名が○となる○病サ.○(カヲカナ)に配ちかとおこる

①にも原因の不明なる○と相関も○になりやすい.③は○いウ○偏頭痛

③は○側性.○%○いの○のような病みが○性におこり,反復○.

月発ヶ月1回の○.○.○.○.○で誘発される.○側性で正中部と○.

病は○部(オ○枝)と○部(オ○枝)にウ.○が出てオ○枝の外以下

男女比○:○.左右比○:○.原因は○過労で○による反応

時間○〜○m内で○後,病は○で○.○いつ始まる.○おい○おい

発作間欠期の○,発作時の表現法が○.発作は○が治療は○ちゃん

治療.オ1枝○神経○.○.オ2枝○末梢○.○.○

オ3枝○神経.○.○.○法:○に○.○○ま

○ト○性の頭痛○あり.○治や○○○(0.0)に○と行う

② は○側性,三叉神経と〜双○.病は○性,○〜ウい

頻度は○.○.○.表示○.○.○(ハ)多い,○神経○○ボ.

鎮痛法○.○.○.表示と違う○.○.○.○○.○○に分ケ.

他に,神経痛○と,脳卒痛○がある

⑤ 強い○性の○い病サ○.○.○.○ 以上ヒ治療法が○性

(M) ○.○.○,○〜○○

EA, TENS, SSP, TEAS

鍼刺激鎮痛法,経穴刺激法,シルバーフィッシュ鍼,経皮通電経穴刺激法

合谷,足三里への刺鍼,低頻度EA

創部痛,急性,侵害受容性疼痛

慢性,神経因性疼痛,手術後疼痛症候群

①知覚異常(痛覚過敏).②神経叢(肋間神経,腓骨神経),③遠位部手足

引き裂かれる,焼ける,電撃,感覚過敏,④アロディニア

静的アロディニア,AS,C傷害部位の限局,疼痛閾値低下

動的アロディニア,AB,傷害部周辺に広がる,神経可塑

5AB,6C　5後索　6反対側の前索

手術後.2年以上,開胸術後,乳房切除後

合谷.足三里EA,低頻度(1〜3Hz),高強度

下行性疼痛抑制系,内因性モルヒネ様物質(β-エンドルフィン)

用法,TENS,高頻度(50〜100Hz),低強度(痛まない)

ゲートコントロール Melzack, Wall

1三叉神経痛,2非定型顔面痛,顎関節症,筋・筋膜性疼痛(頭部筋)

帯状疱疹痛,帯状疱疹後神経痛,心因性疼痛

ピリピリとする感じ.痛み,誘発部位(トリガーポイント)

3特発性三叉神経痛,4症候性三叉神経痛,鎮痛薬効果が認められない場合

片.80%,短い電気ショック,発作性,する,唇唇溝,口角

洗面,ひげそり,喫煙,会話,歯磨き,一側性,持続しない

頬部2,46%,額部3,35%.2・3枝合併15%,オ1枝5%以下

1:2(女)　2:3(男).三叉神経根付近,上小脳動脈による圧迫

数秒〜2分,数十秒,激痛,強い鋭い,表現困難,度利はある,焼けるような

無症状,困難,発作の予防(未治)

眼神経:閉目,指圧.　上顎神経:口目,鼻,歯,巨鼻

下顎神経:咀嚼,大口.　後神経刺鍼法,三叉神経の生理治療刺鍼

アロディニア,発作性,弁証論治.末梢部経穴(合谷・足三里),EA

片側性,しない,持続性,中等度性

足指変化,疲労,強直変化,心気亢進,ヒステリー,ボロボロ(反応性低下)

高い,目眩,中暑,気海,体性,肝俞,脾俞,腎俞,志室

5舌咽神経痛.6後頭神経痛

一過性,鋭い,耳,舌根部,扁桃腺,咽下部,特発性舌咽神経痛

合谷.足三里,内関,陶鞭.2Hz EA.30分間

⑥後頭神経痛，神経刺激 ○，○．○ 神経で ○が多い
○と○性に分けられる，○性が多く ○．○○ の ○の○は痛くない
所で外しやすい ○性の○印の○による もがあり ○で ○が○である
①は ○側性 神経沿いに○ある○性の○ある痛み，間欠的な○ 突然
②は 痛みの○性 神経沿いに○走り，経過に伴い ○する
○痛を誘発，○．○．○ により痛み増悪
原因 3 ○部の ○に伴う ○の○による○痛
4 ○印の ○に形成された ○内の ○痛もある
例 3 ○上顎の○，○前歯の○，○ よく○そう
4 ○．○近辺の○痛再現する○や○

[8-2] 胸・背部痛，治療 ○ ことが多い ○ ことがある ○ が行われていること
原因別．頻度．胸椎性 ○．○．○ → 多い
胸部部，直接 ○．○ 痛
神経性，直接 ○．○ 痛 ○症状様
肋骨内の○．○由来の○．○の痛み（除く）
①は○に沿っておこり，痛文のない 2○と 1○がある部分の○ 3 ○○○○○ 部
③は神経の○や○にある○性疾痛．④は○と○などがある
①の症状，痛みは ○側性で○に沿い，○状に○や○に広がる
③では○と伴う ○により増悪，
治療点：○（○点），○（○点），○（○点），○（○点）に○の○と思める
④注意 ○，○が流れ出ていることがある
治療点 ○痛に対する ○．○．○ ○
○痛に対する ○点：○穴

[9] 歯科，痛みは 1○と 2○がある 所要直前の ○，
①には○由来の○痛と○痛があり，○由来の○（○先 ○到達）
C0，C1．C2．C3，C4 とする
②の部位 ○節（○．○．○）の○痛（○歯）．○関節
○性疾痛で ○痛となる，，○が腫れる
③は ○（○）の痛みと ○と思はれ ○が原因
歯痛と鑑別の大事で 鑑別法 刺激 ○（症状）．○（消す）
手の痛みは ○症，○と伴う．○○ 刺激の強さ ○は強い．○痛
歯の痛み 対処 ○が○である
例
術後疼痛の例 / 非歯原性歯痛，術前

大後頭，小後頭，大耳介，大後頭
特発性，2 症候性，症状性，頭蓋骨，動脈性頭痛症，頭部外傷性頭痛
症候性，後頭部，筋緊張亢進，筋肉で大後頭神経，めつりられる
片側性，限局，発作性，刺すような，ある，毛髪に触れると痛み誘発
持続性，感覚異常，痛みの強度が強くなる
三叉神経痛（1枚），顔部の運動，喫，しゃべり
後頭部，筋緊張，後頭神経の絞扼，症候性後頭神経痛
後頭部，筋腱上，トリガーポイント，関連痛
大後頭：天柱，小後頭 風池，神経を手で
天柱 風池，関連，姿勢，頑結
痛みの原因疾患が明らかでない 原因が明らかでないにもかかわらず検査・治療が行われること
頻度 胸椎関節症，胸椎椎間関節症，椎体圧迫骨折
①肋間神経痛，④癌性疼痛
帯状疱疹，帯状疱疹後神経痛，手術後（胸部開胸）疼痛症候群
食道由来の胸痛（逆流性食道炎），狭心症，痛み
2 特発性，3 症候性，③ 帯状疱疹，脊髄，④ 脊髄疾患，手術
損傷，機能異常，神経因性，胸椎椎間板ヘルニア，変性 脊椎化症
一側性，神経の走行，半環状 胸部，腹壁
脊髄症状，呼吸
脊柱側弯症（脊柱点），腹部 腸上（外側点），肋骨前縁（肋骨点）
腹直筋 a 中腸上（上腹点），バレーの圧痛点
過剰刺激，血流
太衝，曲泉，三陰交，太渓：肝病症
脊柱点：華陀，夾脊穴 ：肋間神経痛
歯原性歯痛，2 非歯原性歯痛，②
歯，象牙質痛，歯髄痛，歯周組織，歯周病（歯肉炎，歯周炎）
上顎洞炎，痛みとし，うがが象牙質 歯髄まで 歯根まで
咀嚼筋（咬筋，側頭筋，内外翼突筋・筋腱痛），顎関節（顎関節症）
4 神経因性疼痛，抜歯後痛，咀嚼筋
筋・筋膜由来（トリガーポイント），歯痛，関連痛
循環器痛（肥満，狭心症，心筋梗塞，解離大動脈），三叉神経痛（1枚 3枚）
舌痛症，味覚異常，中年，神経症的傾向，女性，心因性疼痛
原疾患（がん）の治療と復元
頬車，合谷，下関，上関，EA（合谷合谷，合谷-曲池）
合谷直刺，SSP（silver Spike point）/ トリガーポイント
筋膜移行部

Date 11

東洋医学臨床論IV

③

[1/6] ⑤ 顎関節症 英語

○ヵ○の疼痛, ○, ○などの○を主症状とする○疾患

○性に多く○側性で左右の○, 年齢

(5) 病因は○, 4つ. ○○○○

障害もは○mm以上開口された疾患の○ 生活支障は○

分類. I型 II型 III型 IV型

一般的な○型, 治療方法 ○療法: ○と認知させる

鎮痛剤 ○: ○が強い, ○症状がある, ○: ○多くと痛い

治療 I型 ○症状群と17. ○と○は関係する○, ○に関する

○筋(○元)への刺激, ○と位置と○と○

併用する治療法 ○による○の○が重要

[1/7] (7) 老年医学, 老年期は○を以上, 前期○~○才 後期高齢者○以上

加齢とは. 老化とは

加齢の特徴. 4つ ○○性 ○○○○, 1つ

老化の種類 2つ ○○的老化

抗加齢医学○, ○を人のとする○

(8) 老年期の疾患の特徴 ① ② ③

④ ⑤

老年症候群 ○は別名の疾患(○.○.○.○.○など)

症状を○という。○と同じ○で起こりやすい○の同時

⑥とは. ○とは別の症状, ○と同時に○, ○が重要である

○と呼ばれる, 発症の高い⑥は

○老年期疾患とは ○に関する ○としての診断治療

○の問診: ○の形式, ○の回復(○改善) → ○ → ○(自)

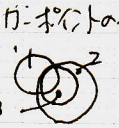
トリガーポイント痛い ○.○系, トリガーポイントは○(関連)に特徴的な

○部位である. ○の○部位で, ○○部の痛みに関する○

痛みの部位原因に関する○ 痛みは○ ○○に存在する○が原因

トリガーポイントの特徴. 6つ 活性の高い順に. ○ ○ ○

○ ○ ○



3 1. 2. 3

探し方 1 筋. 2 部位, 3 点

+ 長くなると○, → 痛みが○する, 出現しやすい場合

部位 経穴○ トリガーポイント, トリガーポイントが筋刺入○指圧刺入

(9) トリガーポイントを含む筋肉は○ なると痛みが○するので筋を指定する

THD Temporo, mandibular Disorders

顎関節. 咀しゃく筋, 関節雑音, 開口障害, 顎運動異常慢性

女性, 偏側性. 同じ, 2峰性 20才 50才

悪習癖, 片側咀しゃく習癖, 口呼吸, 睡眠時[じゅみんじ]歯ぎしり[はぎしり], 歯噛み癖

40, 15L. 15L

[1] 咀しゃく筋障害, [2] 関節包・靭帯障害, [3] 関節円板障害, [4] 変形性関節症

III型, 認知行動療法, 悪習癖

側頭動脈炎: 持続的痛み 強い脱力感, 全身症状, 手足の壊疽, 虚血

筋・筋膜性疼痛症候群, 咀しゃく筋, 頸肩部の筋, トリガーポイント, 圧痛点

咀しゃく筋の外側翼突筋(下関節), 内側翼突筋 咬筋 側頭筋

認知行動療法による咀しゃく障害の改善報告

65才, 65~74才, 75才

動物に普遍的に認められる(個体に固有), 成熟以降の個体の機能低下

普遍性 内在性, 進行性, 有害性, 遺伝子に組まれるもの

生理的, 病理的(病気になる老化スピードが速い)

アンチエイジング, 健康 健康

[1] 疾患と合併, [2] 症状が非定型的

[3] 精神症状を呈する, [5] 個人差が大きい

老年期の特徴的な疾患: 脳血管障害, 認知症, 高血圧, 動脈硬化症

[6] 老年症候群/QOL, 自宅, 老年医学

加齢, 治療, 介護, TP.

病理的老化, 不眠, 転倒, 腰痛, トリガーポイント

失禁, 便秘

高齢者(老年), TP

心臓, 胃痛, 運動(ADL) → 未病はリラックス, → QOL

筋・骨格, 筋・筋膜疼痛症候群(MPS)

圧痛部位, MPS, 原因部位, 筋・骨格系の痛み, 治療法(点)

関連痛. 筋・筋膜, トリガーポイント, 原因

索状硬結, 痛み(症状)の再現, 局所単収縮反応,

限局した圧痛, シャワーサイン, 典型的な関連痛

1 経穴, 2 圧痛点, 3 トリガーポイント

[1] 可動性が制限されている筋 [2] 索状硬結, [3] 硬結上の圧痛点

+ 角度 → 再現, 筋腹移行部付近

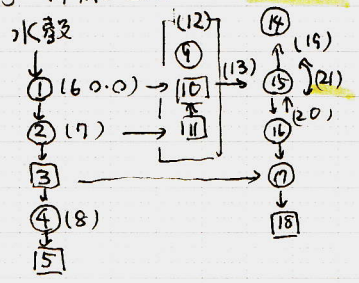
<, >

欠乏, 増多

まとめ[東洋医学]

(肉)腎病の場合ツボ→ポイントが形成された節 4つ
男子の場合 〃 3つ

[東] 排尿困難のことを○○といい ○○ ○○



1. 胃	2. 小腸	3. 濁
4. 大腸	5. 大便	6. 受納・腐熟
7. 清濁の泌別	8. 伝化	9. 脾
10. 津液	11. 清	12. 運化
13. 昇清	14. 全身	15. 肺
16. 腎	17. 膀胱	18. 尿
19. 宣発	20. 粛降	21. 通調水道

癃閉, ①小便出にくい 尿の滴下, ②排尿しない

脾方形筋, 腸腰筋, 梨状筋, 大殿筋
胸鎖乳突筋, 斜角筋, 僧帽筋

○尿に関係する臓

(肺)証分類 4つ 実2つ

虚2つ	脾・肺・腎
別名	肺熱壅盛, 膀胱湿熱, 脾気虚, 腎陽虚
病因	ふつう 湿熱壅積, 中気下陥, 命門火衰
舌苔・脈	熱邪・肺熱, 中焦の湿熱, 中焦気虚, 老人・房事過多
治則	紅・薄黄・数, 紅黄腐 沈渋数, 淡・薄・沈弱, 淡・沈細, 尺脈弱
例	清肺, 清利湿熱, 昇清降濁, 温補腎陽
随伴	尺沢, 中極, 中極, 陰陵泉, 三陰交, 合谷, 足三里, 中脘, 関元, 腎俞, 太溪
	口渇多飲, 口渇不欲, 飲欲不振, 小便赤渋, 腰膝酸軟

〈説明できるように〉(出る)

○ED のことを○(別名)といい, 陰茎を○という

(四)証分類 4つ 実2つ

虚2つ	陽痿, 陰痿, 宗筋
別名	湿熱, 七情内傷, 腎陽虚, 心脾両虚
病因	湿熱下注, —, 命門火衰
舌苔・脈	過度の飲食, 恐れ・怒り多, 房事過多, 思慮過度・気血両虚
治則	紅・黄腐・滑数, 淡紅, 弦細, 淡・白・沈細, 淡・白・沈細弱
例	清化湿熱, 補益心腎, 補腎壮陽, 補益心脾
随伴	中極・腎俞, 陰陵泉, 中極・腎俞・神門, 関元・腎俞・命門, 中極・命門・心俞・脾俞
	下肢重だるい, おどおど・恐れる, 寒がり・四肢冷え, 不眠・心悸

○乳腺炎の証分類 4つ 実3つ

虚1つ	風寒, 肝火, 胃火, 腎陰虚		
病因	風寒邪, 心配・怒り, 飲食不節, 久病・房事過多		
舌苔・脈	淡・白・浮緊, 紅・黄・弦数, 紅黄・洪数, 紅・小・細数		
主訴の違い	温かいと楽になる, 灼熱・生長痛, 灼熱痛, 熱いけれど痛みは軽い		
随伴	悪寒, 煩躁, 口渇・便秘, 腰膝酸軟		
虚実	実, 実, 実, 虚		
治則	疏散表邪, 清泻肝火, 清泻胃火, 滋補腎陰		
例	四白, 下関, 陽白		

東洋医学臨床論 IV

④

○虚痛：○が○に触れると、より○が○経に入り○すると
○し虫を起す 実2つ. 虚1つ

病因,
舌苔,脈
主証の違い
随伴
虚実
治則
例

大腸, 胃, 風邪, 陽明経, ちっ弾

化火 / 風火	胃火	腎陰虚
風邪	飲食不節	久病・房事過労
紅・薄白苔, 浮数	紅・黄, 滑数	淡白, 沈細
冷やすと軽減	歯肉が腫れる	隠痛
発熱, 悪風, 口渇	発熱, 口渇, 便秘	腰膝酸痛, 耳鳴り
実	実	虚
疏風清熱	清降胃火	滋補腎陰

全て 頬車, 下関, 合谷

○胸痛 ○と言い胸中に○がつまる
軽症で○, 重症で○ が起こる
虚 , — , —

病因
舌,苔,脈
主証の違い
随伴
治則
例

胸痹, 陽気

胸悶, 胸痛

陽虚	痰濁	血瘀
寒邪	飲食不節	情志失調
白滑, 沈遅	白膩, 滑後	紫暗, 細渋
冷やすと増悪	—	固定の刺痛
胸悶, 心悸	胸悶, めまい	胸悶, 心悸
温陽散寒	通陽化濁	活血化瘀
心俞, 厥陰俞, 内関, 通里	巨闕, 膻中, 丰隆, 豊隆	陰郄, 巨闕, 心俞, 膻中, 内関

[現代医学]　試験で出ると言ったところ

まとめ. 1) ① 下部尿路機能障害, 過活動膀胱, 前立腺肥大症
② 蓄尿症状, 排尿症状, 排尿後症状
③ 昼間頻尿, 夜間頻尿, 尿意切迫感, 尿失禁,
④ 尿勢低下, 尿線途絶, 排尿遅延(遷延性排尿)
腹圧排尿, 終末滴下.
⑤ 尿意切迫感, 切迫性尿失禁, 排尿筋, 特発性(非神経因性) OAB,
⑥ 蓄尿症状, 排尿症状 (⑤は蓄尿のみ), 残尿感.
⑦ 夜間多尿, 膀胱容量減少, 混合型(①+②), 中膀
⑧ ①33% ② 200ml,
⑨ 腹圧性尿失禁, 切迫性尿失禁, 溢流性尿失禁, 反射性尿失禁,
⑩ 2g, ⑪ 2, 3 ② 過活動膀胱, 前立腺肥大症
⑫ 膀胱訓練法②, 骨盤底筋訓練法ケーゲル体操①/① 中枢, ② 中膀
2) ① 血管性(○) 神経性(△), 内分泌性(◎), 陰茎性(×), 中膀
② 5歳以上の遺尿, 機能的/中膀 | 心因性, 精神病性, IIEF5スコア
3) ① 不快な感覚, 情動体験
② 侵害受容性疼痛, 非侵害受容性疼痛
③ 体性痛, 内臓痛. ④ 神経因性疼痛, 心因性疼痛
⑤ 感情, 情動因 ⑥ 筋肉神経, 感覚過敏, プロディニア
↓EA: 筋収縮
⑦ 低強度, 高頻度, ゲートコントロール説 ⑧ 高強度, 低頻度, β エンドルフィン, 合谷-足三里
4) ① 40mm, 35~39, 30~34, 29以下
② 片側咀しゃく習癖 口呼吸, 睡眠時姿勢習癖
歯列 摂食習癖
③ 咀しゃく筋障害 関節包靭帯障害 関節円板障害, 変形性関節症
④ 側頭動脈炎, 舌咽神経痛 ⑤合谷-下関, 頬車-関元, ③外側翼突筋, 頭痛部位, 耳鳴り, めまい
5) ① CO. (2にこの痛みと感じる), ②合谷直電 (合谷-合谷, 合谷-曲池)
6) ① II, ② 2 / 刺すような, 持続性, 感覚異常 弦, 天柱, 風池
7) ① (華陀) 奇穴 / ② 原因疾患, 十分な検査, 診断
8) ① 不適性, 内在性, 進行性, 有害性
② 多疾患を合併, 病態が多年間と異なる, 症状が非定型的
精神症状を呈する. 個人差が大きい
③ 治療と同時に介護, ケアが重要となる 病理的老化
9) 診断上の価値が高いのは索状硬結, 次は痛みと局所単収縮反応
発現が困難なのは局所単収縮反応, 易しいのは圧痛の強度
① 短縮. ② 腸骨筋, 腸腰筋, 梨状筋, 大殿筋

三叉神経
1 眼窩, 額, 鼻
2 頬, 上顎, 口唇
3 顎, 下顎

本書の一部あるいは全部を、無断で複製、転載すること、インターネットで掲載することは、著作権者および出版社の権利の侵害となります。
あらかじめ許諾をお求めください。

本書を無断で複製する行為（コピー、スキャンなど）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き、禁じられています。
また、複写物やスキャンデータを他者へ譲渡・販売することも違法となります。

東洋医学シリーズ　クエスチョンバンク
発行者　大塚 信之
発行所　蛍東洋医学研究所
HARI Hotal Ancient-medicine Research Institute
住所　　大阪府豊中市蛍池中町
http://otsuka.holding.jp/HARI/
E-mail ： hari@otsuka.holding.jp

Printed in Japan ©2020 東洋医学研究所